

Assist Your Potential

— 技術力と創造力で、あなたの可能性を支援する —

品質検査

濃度追従

見当調整

— みて、判断して、制御する —

PQS-Dがあなたの眼になる。

損紙を減らすことが求められる刷り出しの見当調整。本刷り中の印刷障害や濃度変化に気を遣い、印刷物とずっとにらめっこ。神経をすり減らし、息つく暇がないのが今の印刷現場です。

RMGT の印刷品質管理システム PQS-D は印刷機上の CCD カメラがあなたの眼となり、刷り出しから刷り終わりまで、絶え間なく印刷物を監視しつづけます。品質検査はもちろん、濃度追従や自動見当調整の機能が、オペレーターを援け^{たす}ます。



印刷機上の CCD カメラが印刷中の用紙を監視

RMGT とともに、世界へ彩りを。

リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社
〒726-0002 広島県府中市鵜飼町 800-2 TEL 0847-40-1600
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

グラフィックサービス

GS No.824 2020.07

●発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会
〒103-0001 東京都中央区日本橋人形町7-16
●年間購読料 12,000円＋税（会員の購読料は会費を含む） ●Copyright 2020 JaGra
TEL 03-3667-2271 FAX 03-3661-9006 <https://www.jagra.or.jp/>

グラフィックサービス

発行：一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

JaGra

●巻頭企画

印刷産業における取引環境実態調査①

回答社の7割は印刷工程が主な収入源
——経済産業省の調査報告書より

●特別企画

改正個人情報保護法が成立

●連載

需要創出を考える②

『3DVR 神輿シミュレーター』
3DCADからCGを作ることに活路を見出す
——(株)東京技術協会さんの事例

版画と謄写とこれから②

●ニュースとお知らせ

新型コロナ情報「家賃支援給付金が創設」



GS No.824
2020
07

電子版無料公開中!

スマホでも本誌が読めます
公式HPで本誌PDF版を公開中。
紙媒体より1週間早い毎月中旬に
ご覧いただけます。バックナン
バー閲覧もこちら!



<https://www.jagra.or.jp/>

なかむら通信

読者の皆様へ



ジャグリストの皆さん、こんにちは。
会長の中村耀です。

6月26日の理事会では、多くの理事
の方々が本部においでになり、また残
る理事のメンバーはオンライン会議に
参加して下さいました。大変嬉しかっ
たです。

さて東京では、107人の感染が確認
され、この先の不安を覚えます。仕事
は? 考えると暗くなります。

しかし必ず夜は明けます。想像力た
くましくして、明日に備えましょう。

CONTENTS

●巻頭言

- 01 逆境をチャンスに変えて 情報サービス業の利点を活用!
——ジャグラ副会長/倉敷印刷(株)(東京・千代田) 清水隆司

●巻頭企画

- 02 印刷産業における取引環境実態調査①
回答社の7割は「印刷工程」が主な収入源
——経済産業省調査報告書より

●緊急のお知らせ(新型コロナ関係)

- 09 家賃支援給付金が創設
経済産業省 HP より7月14日から受付開始!
- 01 コロナ禍に関する最新情報を特設サイトで発信中!

●特別企画

- 12 改正個人情報保護法が成立
「仮名加工情報」を新設

●連載

- 24 需要創出を考える②①
『3DVR 神輿シミュレーター』
3DCAD から CG を作ることに活路を見い出す
——(株)東京技術協会(東京・港)さんの事例
- 30 版画と謄写とこれから②
—— Atelier 10-48 主宰/版画家 神崎智子

●企業情報

- 20 モトヤの環境対応資材『ECO no MIST』全商品がGP認定!

●NEWSとお知らせ

- 16 定時総会をネット会議+書面評決にて開催/新役員も決定!
- 18 理事会&委員会通信
- 28 業界の動き
- 33 ジャグラ BB HOTNEWS

8 法親会のご案内

32 事務局日誌と今後のスケジュール

今号より誌面の一部を UD = ユニバーサルデザインフォント(モリサワ BIZ+ 使用)で組んでいます。主として議事録やキャプションなど、文字サイズの小さい箇所に使用しています。

月刊

グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

逆境をチャンスに変えて 情報サービス業の利点を活用!

ジャグラ副会長

東京グラフィックス会長/倉敷印刷(株)(東京・千代田) 清水隆司



昨今、印刷関連企業の廃業・倒産が増加し、東京地協に限らず、あらゆる印刷関連団体の会員減少に歯止めがかからない状況です。菅野前東京グラフィックス会長が推進した「団体課題別人材力支援事業」のような、会員メリットとなる事業を模索し、退会防止に力を入れていきたいと思っています。

これまでの事業や体制を引き継ぐ上で、これからの会員企業に必要なものを見定め、各委員会活動を見直し、より必要とされる情報を発信していきます。前年度に東京グラフィックサービス工業会コンソーシアムが受託し、引き続き推進する「団体別採用力スパイラルアップ事業」では、「働き方改革」と「女性活躍推進」をメインテーマとして、中小印刷会社の課題解決につながるコンサルティングやセミナー、リクルーティング動画の制作などを実施します。

中小印刷会社で構成される東京地協は、地域密着型で活動する事業主が多く、今回の新型コロナウイルスの影響は甚大です。支援策としては、様々な「モノ」がインターネットでつながる「IoT」や、情報通信技術を意味する「ICT」を活用した新型コロナ対応策を発信していけたらと思います。また、都政へ減税対応・補助金・助成金などの要望の提出を考えています。

新型コロナウイルスが収束するのは早くても来年3月になるという声もあり、2020年度は、会員が集まるような活動は難しいかも知れません。緊急事態宣言下、役員・事業担当委員は、ZOOM 会議で議論し、各事業から会員に役立つ情報を洗い出しています。

ZOOM などの Web 会議ツールは、面と向かって話せないことの弊害はありますが、大勢の中でも質問しやすいなどのメリットもあるので、ZOOM 研修・勉強会などを開催したいと考えています。

また、ジャグラ BB とタイアップしてセミナーを発信することで、受講時間に融通がきくようになり、会社の代表者だけでなく社員の育成にも活用できるようになります。このような状況だからこそ、会員メリットを高め、必要とされる団体を目指します。

コロナショックで業務進行だけでなく働き方自体の変更が必須となり、業績を保つことが困難となっていますが、通信販売業は売上を伸ばしているようです。印刷業界は、Web や Net に身近でその知識を持つ産業です。情報サービス業としての利点を最大限活かすことが、この危機を乗り越える手立てになるでしょう。

一方、在宅・リモートワークの推奨で1日中 PC の画面を見つめている人が増え、仕事後に読む本や、情報収集、勉強で使う媒体として紙の需要を見込めるため、紙と NET を融合した提案が可能だと考えています。このようなアイデアや、デジタル名刺などの今後伸びていく商材を紹介することで、会員企業の助けになればと思います。

新型コロナウイルスで今までの常識が見直されてきていることをある意味チャンスと捉えることもできます。強い結束力を持つ東京地協・JaGra をはじめ、他の印刷関連団体とも手を差し伸べ合い、共に逆境を乗り越えましょう。

お知らせ

コロナ禍に関する最新情報を特設サイトで発信中!

新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてジャグラは2月中旬より、①大きい行事・会議の中止・延期、②ネット会議の推進、③会議時におけるマスク着用・手洗い・咳エチケット励行等を実施、更に3月下旬からは本部事務局のテレワークを実施しました(5月末以降は一部職員のみ)。なお、ジャグラでは新型コロナウイルス感染症に関する最新情報を下記特設サイトで発信しておりますのでご利用ください。

<https://www.jagra.or.jp/covid-19/>

● 他社の承継・提携意向ある企業は6割程

● 9割は既存顧客の案件
提案経由で受注する案件は3割程

● 設備導入は着手しやすいものの、
異業種協業は比較的未着手

● 複数工程を手掛けることで、
営業・単価面で有利になる

● 回答社の8割はオフセット印刷を手掛け、
7割は当該方式が収益の柱
次点で6割がデジタル印刷も実施

● 7割は印刷工程が主な収入源、また7割は
プリプレス領域、4割は物流等の印刷業外
領域も手掛けている

● 約7割の事業者で
月の1週間以上は稼働率が目標を下回る

● 保有設備ではオフセット枚葉印刷機が主
次点でデジタル印刷機

● 耐用年数に鑑みて設備更新する事業者は
15%にとどまる

● 回答社の8割はチラシ・DMなどの商業
印刷を手掛け、回答社の4割は商業印刷を
主な収益源としている

「印刷産業における取引環境実態調査」に関する報告書

経済産業省 HP よりダウンロード可能
[https://www.meti.go.jp/policy/
mono_info_service/contents/
2019_printing_surveyreport.html](https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/contents/2019_printing_surveyreport.html)



経済産業省・令和元年度戦略的基盤技術高度化・連携支援事業

図説 印刷産業における取引環境実態調査

第1回: 回答企業の事業概要ほか

日印産連傘下10団体会員を対象に2019年11～12月に調査

経済産業省はこのほど、「印刷産業の取引実態の現状を把握し、持続可能な印刷産業への方策」をまとめた報告書を公表しました。この報告書は、学識経験者および日印産連傘下10団体から派遣された代表者（ジャグラーは中村盟理事を派遣）によって、「印刷産業の底上げ」のためにはどのような方策があるか、検討会を開催して最終的にまとめられましたが、印刷会社の今後の経営計画立案に非常に参考になるデータが多く示されているため、本誌では数回に分けてダイジェスト版を紹介していきます。第一回目は回答企業の事業概要を中心に紹介します。

※報告書は経済産業省 HP よりダウンロードできます。

調査概要

● 調査目的と設問

本調査は、全国の印刷企業の事業概要や抱える課題について事業規模を問わず広く把握するため、主に以下の事項についてアンケートを実施したもの。

◎事業概要（売上・収益、印刷方式、手掛ける工程・サービス）←今回はここを中心に紹介

◎売上・費用の構造

◎抱える課題（印刷オペレーション／営業／経営管理の領域、取引構造上の課題）

◎実施している新たな取組（案件数増・受注単価増・

コスト削減に向けた工夫など）

なお、経年比較の設問では、2018年度と2014年度の実績を問うている。

● 調査対象と調査方法・期間

日本印刷産業連合会傘下10団体の加盟企業6626社に対し、2019年11月下旬に調査票を郵送、返送期限は12月18日とした。結果、1009社より返送され（15.1%）、そのうち1つ以上の設問へ回答のあった回答社数は964社（14.5%）であった。

● 回答社プロフィール

従業員数は、10人未満＝34.5%、10～20人未満＝20.5%、20～30人未満＝11.4%、30～100人未

満＝24.1%、100～300人未満＝6.8%、300人超＝2.7%であった。

資本金は、1千万円未満＝21.1%、1～3千万円未満＝53.3%、3～5千万円未満＝12.1%、5千～1億円未満＝9%、1～3億円未満＝2.8%、3億円超＝1.6%であった。

従業員数・資本金とも、工業統計より大手に若干偏っている傾向である。

また、全都道府県より回答を得たが、回答社のトップ5は、東京＝209社（22%）、大阪＝98社（10%）、愛知＝46社（5%）、福岡＝28社（3%）、埼玉＝21社（2%）であった。

エグゼクティブサマリー（報告書概要）

報告書では、個々の調査詳細の前に「エグゼクティブサマリー」と題して、調査報告概要が記されているので、最初にご紹介しておく。（報告書のキモ部分）

×

日本の印刷産業はデジタル化・ペーパーレス化の流れを受け右肩下がりの市場環境であり、また印刷産業はその大部分が中小企業であることもあり、収益構造は厳しさを増している。また、取引先の中心である大企業等との取引条件の厳しさや、印刷企業そのものが経営者の高齢化・事業承継問題を抱えるなど、多様な課題を抱えている。

そのような状況下、印刷産業の実態を正しく定量的に把握するために、印刷企業に広くアンケートを行い、964社より回答を得た。その結果、以下のような印刷産業の実態が定量的に明らかになった。

- ◎印刷需要が減少すると共に設備稼働率も悪化傾向、供給過剰もあり受注単価下落もあり、営業利益率が低下。
- ◎一方で、売上げを獲得するための営業機能を十分に持てていない、収益管理を十分に行えていないとの課題認識も存在。
- ◎高齢化が進む中、事業承継のメドが立たない事業者が2割程度いるなど、事業継続の課題も存在。

また、アンケートの自由回答や印刷企業へのヒアリングを通じて、ネット印刷増加や官公需価格等を単価下落要因としてあげる声、小ロット化が進むことによる効率低下などが見えてきた。

一方、印刷そのものに留まらず、フルフィルメントの提供や、デザイナーとのコラボレーションなど、事業領域を広げ、提供価値を高める動きも存在し、そのような企業は概して収益が相対的に良い状況であることも見られた。

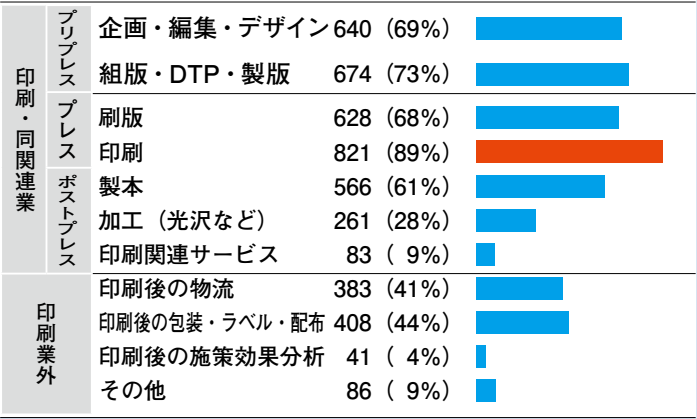
以上の調査結果をふまえ、印刷産業の持続可能な発展に向けた検討会を開催し、印刷産業の実態を共有すると共に、印刷産業の底上げの方向性について議論を行った。

- ◎需要を増やし、価格競争から脱却していくために、地域の異業種も含めた様々な企業が連携するコミュニティを作り、得意領域を組み合わせ、印刷の枠を越えて地域として新しい価値を創出していく。
- ◎足元では、個々の印刷企業の得意分野の把握、稼働情報データの連携、そして管理コストの引き下げをデジタル化によって、印刷産業全体としての生産性向上を実現すると共に、各企業は付加価値創出に専念することを目指す。

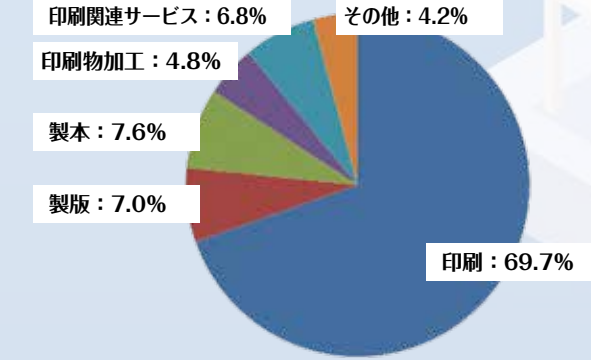
回答社の手掛ける印刷工程

回答社の7割は「印刷」工程が主な収入源
また7割はプリプレス領域、4割は物流等の印刷業外領域も手掛けている

●手掛けている印刷工程（N903/MA*）



●うち売上構成比が最大の工程（N501/SA）



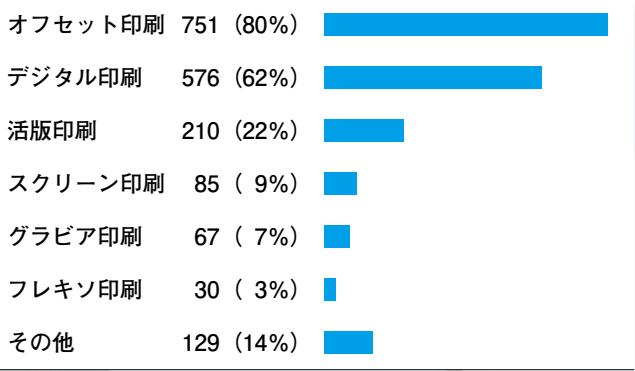
「組版・DTP・製版」「刷版」を製版に、「企画・編集・デザイン」「印刷関連サービス」「物流」「包装・ラベル張り・配布」「施策効果分析」を印刷関連サービスに分類している

※ N 数は回答社数、SA は単一回答、MA は複数回答可

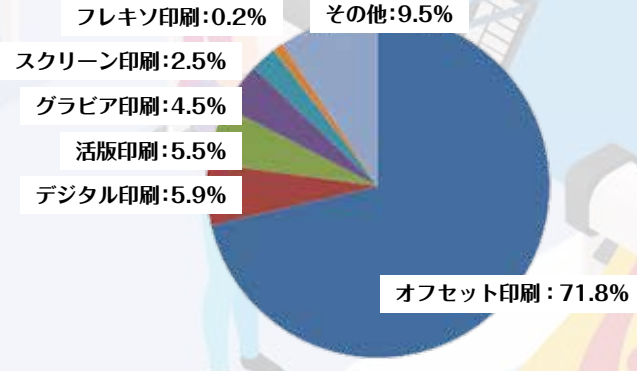
回答社の手掛ける印刷方式

回答社の8割はオフセット印刷を手掛け、7割は当該方式が収益の柱
次点で6割がデジタル印刷も実施

●手掛けている印刷方式（N934/MA）



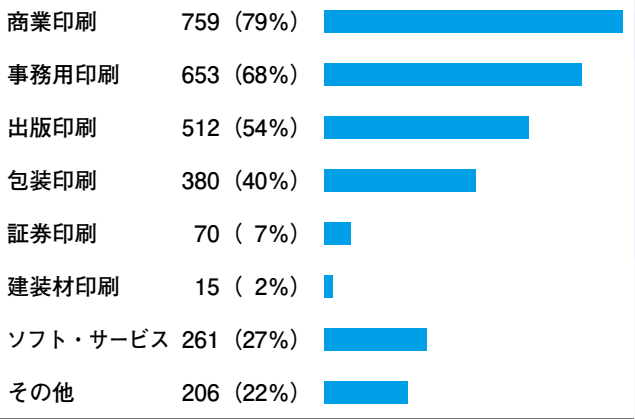
●うち売上構成比が最大の印刷方式（N903/SA）



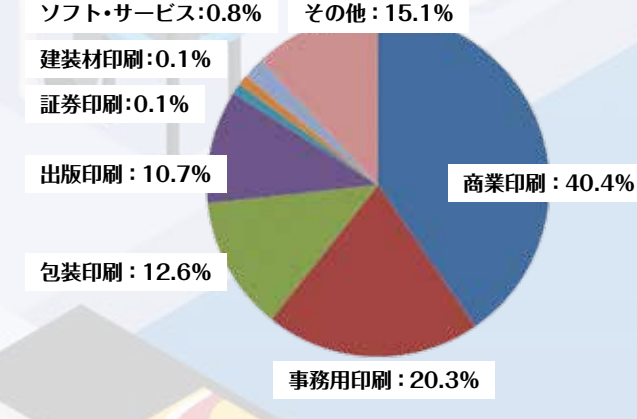
回答社の手掛ける印刷物

回答社の8割はチラシ・DMなどの商業印刷を手掛け
回答社の4割は商業印刷を主な収益源としている

●手掛ける印刷物（N955/MA）



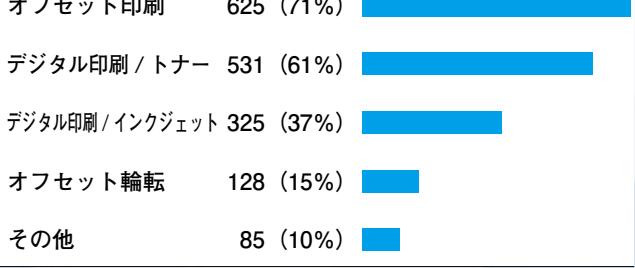
●うち売上構成比が最大の印刷物（N916/SA）



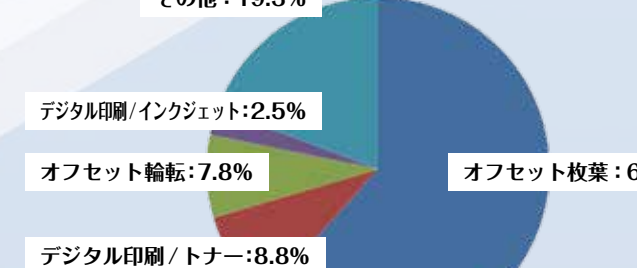
回答社の保有する印刷設備

保有設備ではオフセット枚葉印刷機が主
次点でデジタル印刷機

●保有する印物設備（N875/MA）



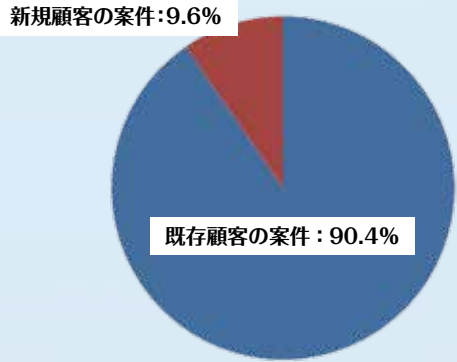
●うち主要な設備（N773/SA）



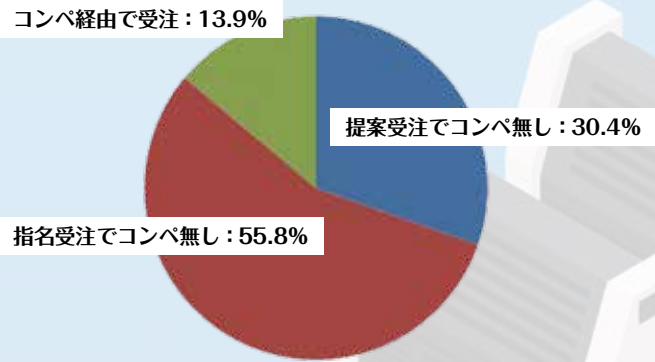
回答社の手掛ける案件の特徴

9割は既存顧客の案件 提案経由で受注する案件は3割程

●既存顧客・新規顧客の案件構成比 (N699)



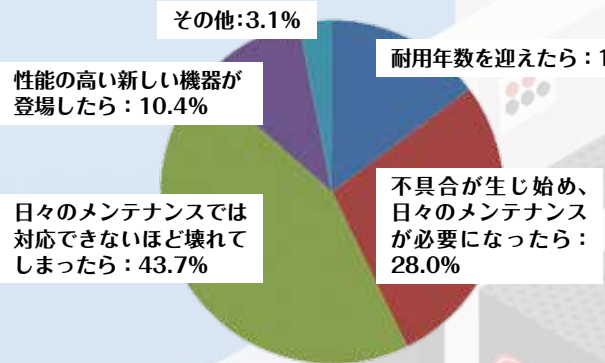
●案件受注の経緯 (N527)



回答社の設備更新のタイミング

耐用年数に鑑みて設備更新する事業者は15%にとどまる

●設備更新のタイミング (N804/SA)

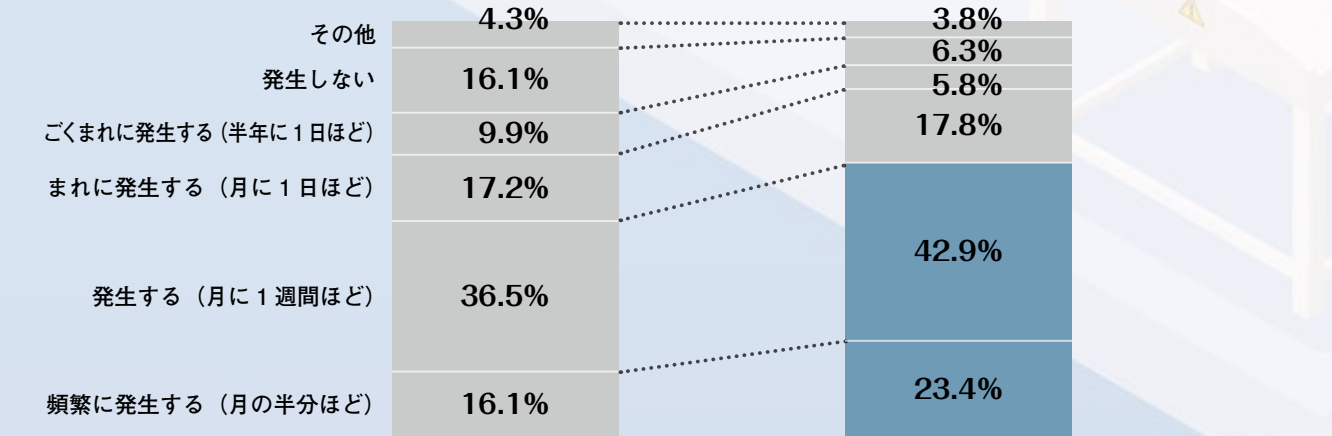


※その他（自由記述）
「更新しない」と回答した事業者も一定数存在
・更新の可能性はない
・更新は考えていない
・作業員が高齢のため更新しない

回答社の稼働状況

約 7 割の事業者で、月の 1 週間以上は稼働率が目標を下回る

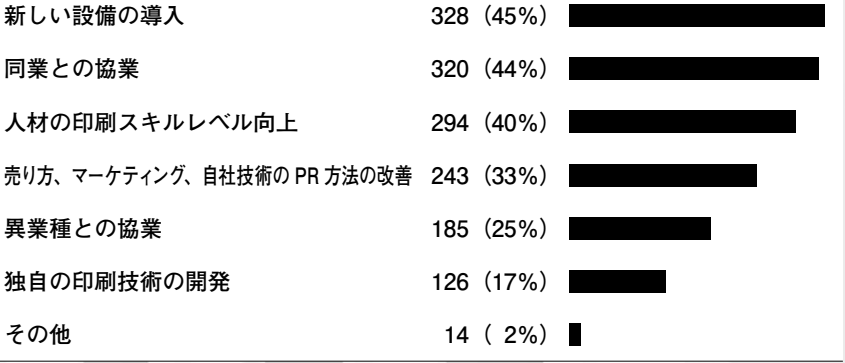
●設備稼働率の高まる／下がる頻度 (N=466, 445, MA)



回答社の工夫の方向性

設備導入は着手しやすいものの、異業種協業は比較的未着手

●着手している活動 (N731/MA)



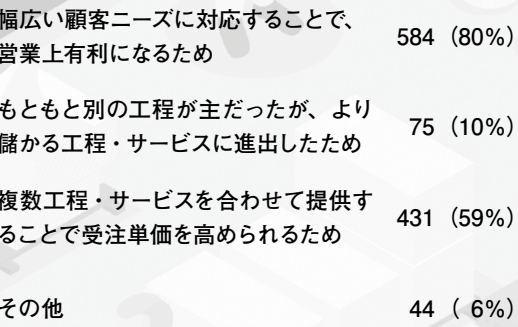
※左記に関心も、取り組めない理由（自由記述）

- ◎投資回収の判断が難しい
 - ・設備投資と回収コストが長期で見通せない
 - ・設備が高額である
- ◎リソースが不足している
 - ・資金が不足している
 - ・人材、特に若手が不足している
 - ・日々の業務に追われて、新たなことを始める時間が無い
- ◎取組意義・メリットが見えない
 - ・経営者の多くにバブル時代の感覚が払拭できない方が多く、同業者同士の歩み寄り、協業は上手く行っていない
 - ・特に異業種と互いにどのようなメリットがあるか見えない
 - ・時間の創出、モチベーションアップの具体策が不透明

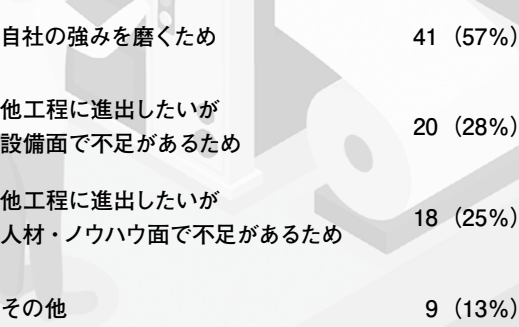
回答社が複数 / 単一工程を手掛ける理由

複数工程を手掛けることで、営業面・単価面で有利になる取組みがなされている

●複数工程を手掛ける理由 (N730/MA)



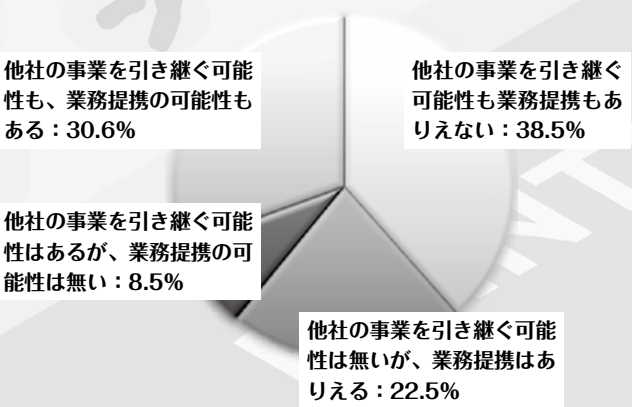
●単一工程に集中する理由 (N72/MA)



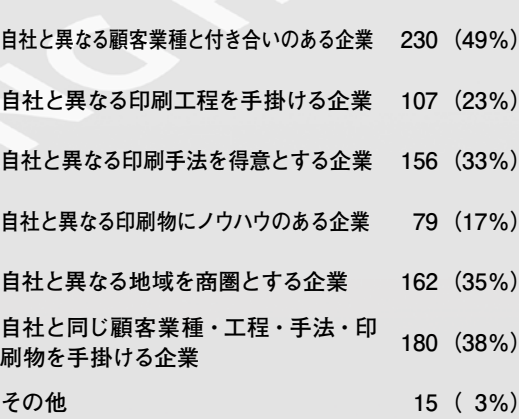
他社の承継・業務提携に対する意向

他社の承継・提携意向ある企業は6割程
魅力的な相手として顧客基盤を補いあえる企業が挙げられた

●他社の承継・提携に対する意向 (N828/SA)



●承継・提携したい企業像 (N469/MA)



取引先とのトラブルを、解決したい！

基本契約書の内容チェック、どうしよう？

年会費2万円で

法律相談

個人情報保護の覚書って、どう書くの？

専任弁護士を雇う余裕は無いしなあ..

法律相談ネットワーク 「グラフィックス法親会」のご案内

何かと相談事・悩み事の多い時代を迎えています。特に最近では経営上の係争が多く発生していますが、このような問題に直面したとき、気軽に相談できて、アドバイスをもらえる「顧問弁護士」が身近にいればなにかと心強いものです。しかし顧問弁護士料は普通最低でも 50 万円以上（年額）かかるといわれており、中小企業にとってその費用捻出は非常に困難です。

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」は、「会費制によって、いつでも相談にのっていただける身近な顧問弁護士を持つ」というジャグラ会員有志のグループです。現在、専任としてお願いしている今西一男弁護士は、印刷業界に造詣が深く、これまでも様々なご相談に対応していただいております。経営の難しい時代、身近な法律相談ネットワークとして、出来るだけ多くの仲間に参加していただき、この会を育てていきたい所存であります。つきましては入会のご案内を申し上げる次第です。皆様のご参加をお待ちしております。



法親会・会長 添田隆男 (㈱サンライズ / ジャグラ 18 代会長)

法律相談ネットワーク「グラフィックス法親会」の概要			
● 専任	今西一男 弁護士	● 事務代行（入会申込先・問い合わせ先）	一般社団法人日本グラフィックサービス工業会・事務局
● 会費	20,000 円 / 年（税別） ※年度途中入会は月割換算（年度末 12/31）		東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16 〒103-0001
● 会員特典	① 無料相談（随時） ※ 遠方の場合は電話・ファクスで対応 ② 情報交換会（適時開催）		電 話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

入会申込書 申込日 20 年 月 日 fax.03-3661-9006

フリガナ	フリガナ	
社名	氏名	
〒		
Tel	Fax	E-Mail

お知らせ

新型コロナ関連情報 家賃支援給付金が創設

経済産業省 HP より 7 月 14 日から受付開始！

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言があり、日本経済・産業に大きな影響が出ていますが、第二次補正予算が可決されたことにより新たな支援制度「家賃支援給付金」が創設されます（7月14日より受付開始）

家賃支援給付金の概要

新型コロナウイルス感染症を契機とした5月の緊急事態宣言の延長等により、売上の急減に直面する事業者の事業継続を下支えするため、地代・家賃（賃料）の負担を軽減することを目的として、テナント事業者に対して「家賃支援給付金」を支給します。

■対象者

テナント事業者のうち、中堅企業、中小企業、小規模事業者、個人事業者等であって、5 月～ 12 月において以下のいずれかに該当する者に、給付金を支給。

- ①いずれか 1 か月の売上高が前年同比で 50%以上減少
- ②連続する 3 か月の売上高が前年同期比で 30%以上減少

■給付額

申請時の直近の支払賃料（月額）に基づいて算出される給付額（月額）を基に、6 か月分の給付額に相当する額を支給。

→法人は最大 600 万円

→個人事業者は最大 300 万円

以上、制度の詳細は経済産業省 HP をご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/covid-19/yachin-kyufu/index.html>

なお、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、自治体でも家賃支援を行っている場合があります。各自治体支援をあわせてご確認ください。

以上

| ご 案 内 |

経済産業省 / 中小企業庁のミラサポプラス＝中小企業向け補助金・支援サイトでも各種情報が随時発信されていますので、定期的なチェックをお勧めします。

<https://mirasapo-plus.go.jp/>



コロナ禍に関する最新情報をジャグラ特設サイトで発信中！
<https://www.jagra.or.jp/covid-19/>

全国どこからでも受講できる

オンライン指導ご相談受付中

Illustrator・Photoshop・InDesign・Lightroom・Acrobat・印刷用 PDF・Dreamweaver・ウェブ基礎・ウェブアクセス解析・HTML・CSS・WordPress・JavaScript・Premiere Pro・After Effects・映像制作基礎 ほか全 36 講座

ジャグラ本部9F JaGraプロフェッショナルDTP&Webスクール

<https://www.jagra.or.jp/school/>

Horizon
Change the focus

「理屈」で考えるワークフロー、
ポストプレスにフォーカスしてみませんか



四六判半裁全自動紙折機+横型プレススタッカー AFC-566FKT+PST-44

大型カラータッチパネルを搭載し、用紙を1枚挟むだけで、全ての設定を数十秒で行います。便利なワイヤレスリモコンを標準装備し、操作パネルから離れている場所でも操作できます。



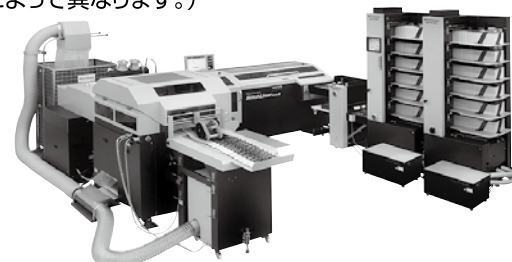
自動無線綴機4クランプタイプ BQ-480

セット替えの高速化による、小ロット、バリエブル製本での高生産性を実現。1冊ずつ厚みの異なるバリエブル製本を最高で時間800冊で処理することが可能です。



ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム StitchLiner MarkⅢ

厚みの異なる冊子に応じて各部を自動で調整、作業を中断することなく安定した高品質な製本を実現。A4S綴じ冊子は最高6,000冊/時間、A4E綴じ冊子は最高5,300冊/時間で処理することが可能です。(製本速度は紙質や紙の厚さによって異なります。)



全油圧断裁機 APC-610

幅61cm、厚さ10cmまで一度に断裁でき、プレッシャとともに、カッティングも油圧式で強力です。



ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083
京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大藪町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025
福岡営業所 〒813-0034 福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092(626)8111(代) FAX.092(626)8112

FUJIFILM
Value from Innovation

完全無処理版で、自動化への第一歩を!

刷版工程の効率化・省力化にはさまざまなアプローチがありますが、
その要となるのは、無処理版へのシフト。
「完全無処理化」が、CTP自動化の起点となり、
スマートファクトリー構築への大きな一歩になります。

※QRコードより各製品の動画や製品情報がご覧いただけます。

パレットローディングシステム



- 最大積載枚数1,200枚
- 刷版の装填回数削減
- 装填作業の負荷低減



インクジェット印字装置

- インクジェットで版面にジョブ名を印字



自動ベンダー

- ベンド(版曲げ)作業の負荷低減



完全無処理CTPプレート

- 高耐刷・UV対応の完全無処理CTPプレート
- アルカリ現像・ガム処理工程の削減
- 自動現像機メンテナンスの削減



CTPセッター

- 最高70版/時の安定した高速出力



刷版自動振り分け装置

- 印刷機ごと・版サイズごとのストッカーへの仕分け



刷版工程自動化ソリューション

Prepress Factory Automation

完全無処理CTPプレート SUPERIA ZD-II

ロングランからUV印刷まで、さまざまなお仕事で安心して使える、汎用性に優れた完全無処理プレートです。

無処理化の3大メリット

- 1 人材を有効に活かせる!
- 2 省スペース化が図れる!
- 3 環境負荷低減に貢献できる!

完全無処理プレートを
導入されたお客様の声を
ご紹介しています。

FFGS 無処理



富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

6月5日、改正個人情報保護法が成立 「仮名加工情報」を新設

6月5日の参議院本会議にて「個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律案」が可決成立した。(6月12日公布)

×

改正の経緯と概要

今回の改正では、同法が3年毎に見直すこととなっており、デジタル経済の拡大で個人情報も含めてデータの流通量が増え、プライバシーを保護する必要性が高まっていることに対応している。改正法の概要としては、(1) 個人の権利の在り方、(2) 事業者の守るべき責務、(3) 事業者による自主的な取組を促す仕組み、(4) データ利活用の在り方、(5) ペナルティの在り方、(6) 法の域外適用・越境移転の在り方の5点である。

主なポイントは、①個人が望まないデータの利用停止を企業に請求できる「**使わせない権利(利用停止権)の拡充**」、②個人関連情報の第三者提供規制の強化、③匿名加工情報に加えて「**仮名加工情報**」を新設、④罰則については強化され、法人に対する罰金刑の上限額を「50万円以下」から「1億円以下」への引き上げが主な内容となっている。2022年6月までの施行が予定されている。

1つ目の利用停止権は、現行法における利用停止などに加え、個人が企業に自身の個人情報を提供したが、データが本人の望まない形で利用されるなどした場合において、企業側に削除を要請できる権利。2つ目の個人関連情報の第三者提供規制の強化は、提供元において個人データとはされていなかったクッキーなどの閲覧履歴データについて、提供

先の企業が他の情報と照合することで個人データとなる場合などにおいて、本人の同意を得ることなどを義務付けるといった取り組み。3つ目の仮名加工情報は、個人情報と匿名加工情報の中間に位置付けられるもので、経済活動等により有効に利用できるものとして新設された。

個人情報を使わせない利用停止権…

まず改正法で、「利用停止権」は、個人が企業に自身の個人情報を提供したが、データが本人の望まない形で利用されるなどした場合において、企業側に削除を要請できる権利である。規制強化については、クッキーなどの閲覧履歴データについて、提供先の企業が他の情報と照合することで個人データとなる場合などにおいて、本人の同意を得ることなどを義務付けるといった取り組み閲覧履歴を記録する「Cookie(クッキー)^{*1}」と呼ばれるデータなどについて、提供先が扱うことで利用者が特定される場合は、本人の同意確認を義務付けている。

ウェブの閲覧履歴を記録したCookieなど、それ単独では個人情報には該当しないデータでも、企業が個人と照合して利用する場合は、本人の同意を得ることを義務付ける。Cookie情報を巡っては2019年8月、就職情報サイト「リクナビ」が就活生の内定辞退率を分析し、企業に販売していた問題が発覚した。こうしたケースを念頭に、状況に応じ、個人情報と同等に扱うよう求めるというもの。

※1 **Cookieとは**：Webサイトの提供者が、Webブラウザを通じて訪問者のコンピュータに一時的にデータを書き込んで保存させる仕組み。Cookieには、Webサイト(Webサーバ)側が指定

したデータを保存しておくことができ、利用者の識別や属性に関する情報や、最後にサイトを訪れた日時などを記録しておくことが多い。ネットサービスなどのサイトで利用者のIDなどが保存されると、次にアクセスしたときに自動的に利用者の識別が行われ、前回の続きのようにサービスを受けることができる。一定以上の個人情報を漏洩し、個人の権利に害を与える恐れがある場合などは、速やかに個人情報保護委員会への報告と本人への通知を義務付ける。

仮名加工情報とは

次に、企業によるデータの利活用を後押しする制度として個人を識別できないよう、氏名を削除するなどしてデータを加工した「仮名加工情報」の制度を導入。社内での分析などに使う場合に限って、本人からの開示や利用停止請求の対象外とする。新設された「仮名加工情報」について、2017年の改正個人情報保護法では「匿名加工情報」という用語が定義された。これは、個人データを個人が特定できない形で加工して、かつ元に戻せない状態にしたデータのことを云う。個人の特定が不可なので、匿名加工情報は個人情報には当たらないため、自由に利用できる。わが国の個人情報保護法には、事業者間の円滑なデータ連携のために、一定の加工をすることで本人の同意等なしにデータの第三者提供を可能にする「匿名加工情報」という仕組みである。ただし、匿名加工情報については、「利用方法がわからない」、「加工によって情報としての活用の場面が非常に限定的になる」などの指摘があった。

一方で、海外(EUのGDPR、米国カリフォルニア州のCCPAなど)においては、匿名加工情報と個人情報の中間のような「仮名化」という仕組みが見られる。仮名化とは、データの一部を置き換える等の措置により、追加的な情報を利用しない限りそのデータの主体を特定できないようにすることを言う。例えば、氏名・性別・年齢から成るデータがあったとき、氏名を記号等に置き換えた場合、性別・年齢だけ

では個人を特定できず、元データの氏名という追加的情報がなければ個人を特定できない。このようなデータが、仮名加工データに当たると考えられる。

こうした状況等を踏まえ、仮名加工情報は、「本人を識別する利用を伴わない、事業者内部における分析に限定するため」に一定の行為規制がかかる。つまり、仮名加工情報は事業者内部の分析に利用が限定されるため、第三者に提供することは許容されない^{*2}。

また、仮名加工情報に係る利用目的の公表は、作成に用いた個人情報の利用目的と異なる場合に求められる。ただ、仮名加工情報については、本人からの請求(開示・訂正等、利用停止など)への対応義務が緩和され、様々な分析に活用できるようにされる。

なお、一般に、仮名加工情報を作成した事業者は、仮名加工情報の作成に用いられた原データも保有していることが想定される。原データについては、本人の各種請求に対応する義務があるほか、本人の同意等に基づいた第三者提供を行うことができる等、通常の保有個人データとしての扱いをすることには注意が必要である。

※2 ただし、あらかじめ本人の同意を得ること等により、原データを仮名加工したデータを、「個人データ」として、第三者に提供することも可能である。

(文責：東京グラフィックサービス工業会専務理事 斎藤成)

ジャグラ東北地方協議会 理事 向井一澄 〒02817111 岩手県八幡平市大更21の16の9 TEL 0195 7760251 FAX 0195 750331 大更印刷内	ジャグラ副会長 熊谷正司 株式会社 熊谷正司 〒1000001 秋田市中通6の4の21 TEL 0118(833)6722 FAX 0118(833)6722
--	--

ダイヤニツク株式会社 代表取締役社長 谷本泰彦 〒130-0026 東京都墨田区南園1-10-14 TEL 03(5558)5949 FAX 03(5558)5949 https://dianic.jp	富士ゼロックス株式会社 執行役員 グラフィックコミュニケーションサービス事業本部 事業本部長 木田裕士 〒106-0032 東京都港区六本木3-1-1 TEL 03(6558)6025 FAX 03(6558)6025
--	--

FUJIFILM Value from Innovation 富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 代表取締役社長 辻重紀 本社 〒100-0001 東京都港区新橋1-20-30号富士フイルム西東ビル TEL 03(6416)0000 FAX 03(6416)0000	株式会社 ショーワ 代表取締役社長 伊澤秀春 〒101-0065 東京都千代田区西神田1-7-1 TEL 03(5641)6411 FAX 03(5641)6411
--	---

RMGT リョービMHI グラフィックテクノロジー株式会社 代表取締役社長 広川勝士 〒726-0002 広島県府中市鵜飼町800-2 Tel.(0847)40-1600 Fax.(0847)40-1601 http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/

インスタップ NS PRINT & POSTPRESS DESIGN からでも 印刷 からでも 製本 からでも ONE STOP SERVICE 東京 中編じ 検索 NS印刷製本株式会社 代表取締役会長 中村 耀 代表取締役社長 中村 盟 東京都新宿区早稲田鶴巻町568 Tel 03-3203-5421 Fax 03-5273-0527

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

6.6ジャグラ定時総会をネット会議+書面評決にて開催 中村会長を三選&新役員も決定！

ジャグラは第 55 回定時総会を令和 2 年 6 月 6 日午後 3 時より、ジャグラ本部会議室にて開催した。今回は文化典高知大会が新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となったため、主会場を本部会議室とし、ネット会議での開催[※]とした。また、会議に参加できない会員のために YouTube でのライブ配信も実施した。

議事までの経過

ジャグラ第 55 回定時総会は、午後 3 時 00 分より、中村耀会長の指名を受けた並木清乃事務局長の司会により開催された。今回は、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、ジャグラ文化典高知大会を中止し、東京都中央区「ニッケイビル」にて開催した。あわせて、ネット会議での開催とした。会議を開始する前に、ネットの音声・動画が正常に機能していることを確認して開始した。

最初に、この一年間に逝去されたジャグラ会員 8 名の冥福を祈り、出席者全員で黙祷を捧げた。

続いて、中村会長が開会の挨拶を行った。

『今回、新型コロナウイルス感染拡大防止のためジャグラ文化典高知大会が中止となったことは誠に残念である。10 年前に香川県高松市で開催して以来の四国での大会を楽しみにしていたので、本当に残念である。今回の総会では初めての試みとなるが、ネットを利用した総会である。参加者以外も視聴できるように YouTube でもライブ配信するようにしている。どうか新型コロナウイルスに負けないジャグラにするためにも実りある総会にしていきたい』

ここで司会者は、定款第 15 条「総会の議長は会長が務める」規定により、中村会長が議長に就任する旨を報告し、中村会長が議長として着席し、ここから議長が進行した。

議長は、規則に基づく総会資格審査報告、議事録署名人、そして総会役職者について事務局に指示して次の通り報告させ、議場の承認を得た。

本定時総会に出席すべき正会員の総数＝ 909 名

総会成立に必要な正会員の数＝ 455 名

現在出席している正会員の数＝ 3 名

ネット経由で出席している正会員の数＝ 26 名

欠席で委任状が提出されている正会員＝ 703 名

合計＝ 732 名

従って、出席構成員の数が過半数に達しているので本定時総会における議決は有効である。

議事録署名人＝東京地協の菅野潔さん

関東地協の岡澤誠さん

総会役職者＝総会書記＝並木清乃

次に、議長は議事運営について、「本総会は総会資料の議案のとおり、第 1 号議案より第 6 号議案までとなっていますが、総会運営準則第 7 条に基づく動議はありません。従って、審議・議決が必要な議案は第 1 号議案より第 5 号議案の五つになります。議決の方法は第 1 号議案より第 5 号議案まで、すべての議案につきまして出席構成員の過半数をもって決めることにいたします。また、すべての議案で過半数の委任状の賛成の承認を得ています」と報告し、総会の議事に入った。

議事の経過

○第 1 号議案：第 55 年度事業報告の承認に関する件

○第 2 号議案：第 55 年度決算報告の承認に関する件

議長より第 1 号議案および第 2 号議案は関連があるため一括して提案し、その後それぞれについて審議・採決したい旨の説明があった。それを受け、まず第 1 号議案の提案説明を冲敬三専務理事が、続いて第 2 号議案の提案説明を谷川聡理事が行った。また、定期監査報告は松永英明監事が行った。

提案説明の後、第 1 号議案についての質問・意見を議場に求めたところ発言はなく、異議なく満場一致で承認された。続いて第 2 号議案について質問・意見を議場に求めたところ発言はなく、異議なく満場一致で承認された。

○第 3 号議案：第 56 年度事業計画の決定に関する件

○第 4 号議案：第 56 年度収支予算の決定に関する件

続いて第 3 号議案について冲専務理事が、第 4 号議案について谷川理事が提案説明を行った。

提案説明の後、第 3 号議案について質問・意見を議場に求めたところ発言はなく、異議なく満場一致で承認された。

続いて第 4 号議案についての質問・意見を議場に求めたところ発言はなく、異議なく満場一致で承認された。

○第 5 号議案：任期満了に伴う役員改選に関する件

続いて第 5 号議案について、笹岡誠役員推薦委員長が提案説明をした。

《提案の趣旨説明》

『役員推薦委員会は役員選挙規程第 2 条により、昨年 11 月

15 日開催の理事会にて設置され、互選により私が委員長、副委員長に神奈川県支部・岡澤誠、大阪府支部・山本耕司の両名が就任しております。役員推薦委員は各地協ごとの会員 150 名に一人の割合で選出することになっていて、その中の一人は地協会長である必要があります。

さて、私ども役員推薦委員会は、昨年 11 月 16 日に第一回委員会を開催しましたが、席上、中村会長の続投を満場一致にて要請することになりました。そこで委員長である私が、中村会長に委員会の経緯と結果をお伝えし、引き続き、ジャグラ会長をお引き受けいただきたい旨を申し上げ、了解をいただくことができました。

以上の内容は役員推薦委員に書面にて報告し、会長候補が固まったことから、会長候補の意向を確認しつつ、その他の理事候補・監事候補のうちの一人について、役員推薦委員会が推薦することになっておりますので、推薦しております。

また、役員推薦委員会のもう一つの職務である地協に配分した役員名簿についても、令和 2 年 3 月から 4 月にかけて集約しました。

これらの経緯を踏まえたものが総会資料 60 ページに一覧として掲載しております。以上、新しい理事候補・監事候補の皆さまをご推薦申し上げます。』

以上、審議経過を含めて提案説明をした後、理事候補者・監事候補者を推薦した（候補者名省略）。

提案説明の後、第 5 号議案について質問・意見を議場に求めたところ発言はなく、異議なく満場一致で承認された（新役員・役職は右表のとおり）。

議長は、午後 3 時 35 分、第 55 回定時総会の議事が終了した旨を宣言し、降壇した。総会の閉会の挨拶を菅野副会長が述べて第 55 回定時総会を終了した。

理事・監事の出欠	
●出席	
会 長	中村耀
専務理事	冲敬三
常務理事	守田輝夫
理 事	笹岡誠
監 事	なし
●ネット参加	
副 会 長	熊谷正司、岡澤誠、菅野潔、岡本泰、山本耕司、中越忠男
理 事	渡辺辰美、向井一澄、尾形文貴、清水隆司、齋藤秀勝、青木滋、中村盟、吉岡新、原田大輔、高橋広好、谷川聡、宮崎真
監 事	松永英明
●欠席（ただし委任状提出済）	
理 事	宮本誠、早坂淳、古澤和江、岩下登、本村豪経、松本徹、齋藤隆正
監 事	佐藤順、前沢寿博

総会後に開催された理事会の内容

理事会は午後 3 時 45 分に開会し、午後 4 時 30 分に閉会した。理事会で決定された役職は次のとおり。

●新役員および役職

役 職	氏 名	会社名 / 支部
会 長	中村 耀	NS 印刷製本(株) / 東京・新宿
副 会 長	熊谷 正司	(株)くまがい印刷 / 秋田
	岡澤 誠	(有)中溝グラフィック / 神奈川
	清水 隆司	倉敷印刷(株) / 東京・千代田
	岡本 泰	(株)クイックス / 愛知
	谷川 聡	(株)北斗プリント社 / 京都
	宮崎 真	(株)ニシキプリント / 広島
専務理事	冲 敬三	勝美印刷(株) / 東京・文京
理 事	渡辺 辰美	(株)あいわプリント / 北海道
	向井 一澄	大更印刷(株) / 岩手
	熊谷 晴樹	創文印刷出版(株) / 宮城
	中島 博	(株)中島プリント商会 / 群馬
	尾形 文貴	(株)みつわ / 千葉
	樋貝 浩久	(有)東和プリント社 / 山梨
	鈴木 将人	(株)東京技術協会 / 東京・港
	齋藤 秀勝	(株)文化ビジネスサービス / 東京・港
	中村 盟	(株)ユニバーサル / 東京・新宿
	吉岡 新	共立速記印刷(株) / 東京・文京
	笹岡 誠	(有)ドゥ・ブラン / 東京・城西
	原田 大輔	(株)グッドクロス / 東京・城南
	武川 優	(株)緑陽社 / 東京・三多摩
	高橋 広好	共立印刷(株) / 新潟
	岡 達也	あさひ高速印刷(株) / 大阪
	岸 徹	(株)トライス / 兵庫
	中越 忠男	(株)伸光堂 / 高知
	本村 豪経	アイメディア(株) / 福岡
	池邊 寛	(株)エデンメディアワークス / 大分
	齋藤 隆正	(株)ワイシー・ドキュメント / 関東複写
監 事	東海林正博	(株)東海林印刷 / 秋田
	鈴置 誠	鈴置印刷(株) / 愛知
	前沢 寿博	公認会計士 / 員外

※樋貝理事＝東海の理事選出枠を関東に移管して選出
東海林監事＝北海道の監事選出枠を東北に移管して選出

※書面総会の模様をジャグラ BB にて配信中です。

以上

理事会&委員会通信 ジャグラの活動報告です

今年度のジャグラコンテスト中止&新部門「技能テスト」実施を決定

——ジャグラコンテスト2020部会 議事録より

3.18 第6回ジャグラコンテスト2019 部会

同日、ネット会議を開催した。

【報告事項】

ジャグラコンテスト第5回について、専門委員会議の開催、総合結果発表、入賞者への賞状送付等について報告した。

【検討&決定事項】

1. ジャグラコンテスト第6回について

①専門委員からの提案＝従来通りの競技形式に加え、順位を争わない採点・レポート返却のみの一般レベルの部門（以下、一般レベル）を新設する案について検討した。

→一般レベルを新設する方向で具体化する。一般レベルの名称をどうするか、専門委員から意見を募り決定する。従来通りの競技形式については昨年同様の形式で実施するが、価格は消費税増税に合わせ改訂する。

②従来通りの競技形式でのコンテストは、2次審査の日程を2021年2月のpage展に合わせて実施する案と、参加費、優遇制度について検討した。

→優遇制度については、〇名以上の参加で〇%引き等の団体割引を実施した場合のシミュレーションを昨年の数字で行った上で検討する。

→従来通りの競技形式について、2次審査を2月に実施する案は却下とし、別日程で全体スケジュールを再検討する。事務局が何案か作成し、提案する。

【主な意見】

◎一般レベルについては、学生も対象にする場合、金額はあまり高く設定しない方がいい。

◎一般レベルの参加者が多かった場合、採点等運営側の負担は大丈夫か？

◎従来通りの競技形式は、税別で金額を設定してはどうか。

◎2次審査日程について、1～3月が超繁忙期の印刷会社が多いため、2月に実施する案は再検討してもらいたい。

◎ジャグラコンテストは収益事業ではないが、黒字を目標としたい。

●出席

笹岡誠部会長兼専門委員、谷川聡理事、樋口泰行専門委員、並木清乃事務局長、阿部奈津子事務局員

4.21 第一回ジャグラコンテスト2020 部会

同日、ネット会議を開催した。

【報告事項】

1. ジャグラコンテスト第5回について

高知大会中止に伴い、マイスターの表彰式も中止となったことを報告した。

2. ジャグラコンテスト第6回について

専門委員会議を開催した旨報告した。

【検討&決定事項】

1. ジャグラコンテスト第5回表彰について

第5回のマイスター表彰について、別の機会に行うか、授与品の発送をもって表彰とするか検討した。

→授与品の発送をもって表彰とする。来年の大阪大会にて改めて表彰の機会を設けるかどうか検討する。

2. ジャグラコンテスト第6回について

2次審査の実施日を再検討した。さらに新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないことを受け、今年度にコンテストを実施すること自体が可能かどうか検討した。

→コンテストを実施する場合は、2021年1月9日（土）を2次審査日程とする。2次審査日程に照準を合わせ、全体の開催スケジュールを事務局が作成する。今年度コンテストを実施するかどうかは、5月6日までを期限として発令されている緊急事態宣言の状況を見て、5月11日に部会を開催し、最終決定する。

【主な意見】

◎開催できる余地があるなら、今年も開催したい。

◎コロナ禍で「コンテストどころではない」という企業と「こういう状況だからスキルアップの時間に充てよう」という企業と、二極化する可能性がある。

◎緊急事態宣言が5月6日で終了すれば、7月頃から募集を開始するスケジュールで開催できるが、宣言が延長されたら開催は難しい。

3. 参加費・割引制度

ジャグラ会員1種目1万円（2種目同時エントリーの場合はセットで1万6000円）／非会員1種目1万2000円（税別）とするか、本体を少し値下げした上で税別とするか、団体割引制度の適用も含め検討した。

→参加費税別¥9500（税込1万4500円）、3名以上で10%割引とする。

【主な意見】

◎前回は消費税8%で税込1万円だったが、税別になると9260円であるため、税別9500円が価格も近く妥当である。参加者の負担を軽くするためにも、3名以上の申込から割引を適用したい。

4. 一般レベル部門の新設について

専門委員会議で一般レベル部門の名称案を検討した。結果、下記3案が有力候補となったため、部会にて1案に絞った。

→「JaGra 認定 DTP オペレーション技能テスト InDesign」とする。今年度中に新部門を実施するかどうかについて、コンテスト第6回を開催する場合は見送り、コンテスト第6回を中止する場合は新部門を実施する方向で、5月11日の部会にて検討する。

●出席

笹岡誠部会長兼専門委員、熊谷正司副会長、谷川聡理事、宮崎真理事、阿部奈津子事務局員

5.11 第二回ジャグラコンテスト2020 部会

同日、ネット会議を開催した。

【検討&決定事項】

1. ジャグラコンテスト第6回開催について

緊急事態宣言の5月31日までの延長をふまえ、今年度ジャグラコンテストを開催するかどうか検討した。

→今年度は開催しないこととする

2. 新部門「JaGra 認定 DTP オペレーション技能テスト」について

新部門「JaGra 認定 DTP オペレーション技能テスト」を今年度実施するかどうか。実施の場合のスケジュールはどうするか検討した。

→今年度中に実施するかどうかは、部会では結論が出なかったため、5月下旬に開催予定の総務委員会で、今年度中に実施することについての是非を問う。参加費については、1万円と8000円の2パターンで収支のシミュレーションを作成し、総務委員会の意見を聞く。総務委員会で今年度中に実施する方向に決定した場合は、10月からの募集開始を目指し、要項、出題内容等の具体化を進める。

●出席

笹岡誠部会長兼専門委員、熊谷正司副会長、谷川聡理事、宮崎真理事、阿部奈津子事務局員

※技能テストについては5月26日に開催した総務委員会で、今年開催することを決定しました。

株式会社 大塚商会

代表取締役社長

大塚 裕司

〒102-8573

東京都千代田区飯田橋2-18-4

Tel.03-3264-7111

ジャグラ千葉県支部

支部長 尾形文貴

〒261-0002
千葉市美浜区新港2-13の5
TEL 043 (242) 72349
FAX 043 (245) 72349

ジャグラ神奈川県支部

支部長 岡澤 誠

〒210-0846
川崎市川崎区小田五丁目一五
F 電 話 〇四四(三三三)二七八七
A X 〇四四(三三三)七七八七

ジャグラ愛知県支部

支部長 神山明彦
会員一同

〒451-0042
名古屋市西区那古野1の21の14
TEL 052 (565) 10514
FAX 052 (565) 10514

ジャグラ大阪府支部

大阪府グラフィックサービス協同組合

理事長 岡達也
会員一同

〒541-0048
大阪市中央区瓦町1の6の10
TEL 06 (527) 8514F
FAX 06 (527) 85222

株式会社ムサシ

代表取締役社長 羽鳥雅孝

〒104-0061
東京都中央区銀座8の20の36
TEL 03 (3546) 7718
FAX 03 (3546) 7718

株式会社モリサワ

代表取締役社長

森澤 彰彦

〒五六一〇二二
大阪市浪速区敷津東二一六二五
電話 〇六一六四九一二五一

モトヤの環境対応資材

『ECO no MIST』全商品がGP 認定！

SDGs に対するモトヤの取り組みとは？

株モトヤが提供している環境対応資材「ECO no MIST（エコノミスト）」の全商品が、このほど日本印刷産業連合会のGREEN PRINTING 認定を取得しました。同社のSDGs への取り組みなどをプレスリリースより紹介します（編集部）。

×

安心安全な職場環境への同社の想い

SDGs は「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、「2015 年に国連サミットで採択された、2030 年までに達成する 17 の目標」です（下図）。企業活動は単なる利益や価値の追求だけでなく、この目標に沿って進められるべきであると示しています。商社である当社の活動領域には、SDGs の目標に沿ったものが多くありますので、その取り組みについてご紹介します。

当社は 1922 年の創業以来、長期にわたり印刷業界で機器・機材の販売をさせていただいてまいりましたが、2012 年に胆管がん問題が発生した時点より、業界で何が起きているのか、何が問題なのかを考えてきました。昔から、印刷の現場環境は「きつい」「汚い」「危険」の 3K と言われることも多く、改善が試みられてきましたが、そのような中においても胆管がん問題が発生し、お亡くなりになった方がおられ、また未だ病に臥せておられる方もおられます。

当時より中小企業である当社にできることはないかと思っておりましたが、印刷現場の環境改善のための資材開発に着手するに至りました。そのコンセプトは「安全な職場づくり」「社員が安心して働ける職場」です。自分の子供や孫が「修行的ため、安心して印刷現場で 5 年、10 年勉強できる」という環境づくりをしなければと考えています。

印刷業界は多岐にわたる化学物質を取り扱っています。各工

程で使用される有機溶剤をリスクアセスメントの観点で見直し、ジクロロメタン・ジクロロプロパン等の発がん性物質を排除し、作業性を落とさないものを供給しなければならないと考えています。また、芳香族炭化水素による呼吸器・中枢神経障害に影響のある物の代替品として、揮発性有機化合物（VOC）の低減には引火点 70℃以上の低 VOC の安全な製品の開発を完了しました。

このことはSDGs にうたわれている、③すべての人に健康と福祉を、④質の高い教育をみんなに、⑧働きがいも経済成長も、⑨産業と技術革新の基盤を作ろう、⑪住み続けられる街づくりを、⑫つくる責任使う責任、など多くのターゲットに合致しています。そして忘れてはならないのが、業界を挙げて現場の社員さんの健康を守るために、作業者の一人一人が有害性を考えて選べるようになり、危険な物質を自ら排除していかなければなりません。（洗浄剤、処理剤等）

『ECO no MIST』について

当社が提供する『ECO no MIST』の商品について、SDGs の目標に合致する特長をご紹介します。（丸付数字が合致ポイント）

●ニューソル ECO16

洗油に求められる安全性、作業性、低コストを実現した有機則非該当の環境対応型油性用インキ洗浄剤。GP 認証製品で☆☆2 スター取得品。③⑧⑨⑪⑫

●DC ローラー洗油 NEO-M

UV インキ洗浄に求められる洗浄力、低臭気、安全設計にえられるようメーカー（DIC 社）と共同開発した洗浄剤。③⑧⑨⑪⑫

●プレス&ショップクリーナー

印刷機周りの掃除に求められる洗浄力、塗装面の保護、作業

The image displays a collection of 12 ECO no MIST products arranged in a 3x4 grid. Each product is shown in its packaging (bottle, can, or box) with a corresponding label. The labels include the product name, its primary use (e.g., ink cleaning, equipment maintenance), and key features or safety information. The products are: 1. ニューソルeco16 (New Sol Eco 16), 2. DICグラフィックス UV用洗油: DC ローラー洗油 NEO-M, 3. 水棒洗浄剤 (Water Stick Cleaning Agent), 4. 仕上げ洗浄剤: 油性/UV, 5. ASIAMIX 印刷機本体洗浄: プレス&ショップクリーナー, 6. 紙粉専用クリーナー (Paper Dust Special Cleaner), 7. 速乾洗浄剤: ハード/ソフト (Fast Drying Cleaning Agent: Hard/Soft), 8. ゴム専用メンテナンス剤 (Rubber Special Maintenance Agent), 9. FUJIFILM グレーズ専用処理剤: GR, 10. 速乾洗浄剤: ハード/ソフト (Fast Drying Cleaning Agent: Hard/Soft), 11. 紙粉専用クリーナー (Paper Dust Special Cleaner), 12. ゴム専用メンテナンス剤 (Rubber Special Maintenance Agent). Each product label also features a small table with safety and performance data.

日印産連 GP 認定を受けたモトヤの環境対応資材「ECO no MIST」の商品群

性を確保した印刷機周辺クリーナー。法規制すべてクリアのGP 認証製品で☆☆2 スター取得品。③⑧⑨⑪⑫

●速乾性洗浄剤ハード

圧胴等の速乾洗浄作業に求められる速乾性、洗浄力、環境対応の製品としてジクロロメタン、ジクロロプロパン等の発がん性物質を使わない洗浄剤を開発。③⑧⑨⑪⑫

●速乾洗浄剤ソフト

ブランケット等の速乾洗浄剤に求められる低臭気、作業性、安全性を追求したジクロロメタン、ジクロロプロパンを含まない安全設計のブランケット洗浄剤。③⑧⑨⑪⑫

●紙粉専用クリーナー

ブランケットに付着した紙粉の除去に特化したクリーナー。再生紙に多い紙粉除去をやすく作業性を高めるもの。⑧⑨⑫⑮

●水棒洗浄剤

水棒洗浄に求められる洗浄力、保水性、低臭気のパフォーマンスにこだわり、生産性の向上と環境対応が両立できる商品。③⑧⑨⑪⑫

●仕上げ洗浄剤 油性

油性インキの色替え・仕上げ洗浄作業に求められる洗浄力、作業性、グレース予防対応できる洗浄剤。PRTR 法非該当。③⑧⑨⑪⑫

●仕上げ洗浄剤 UV

UV インキの色替え・仕上げ洗浄作業に求められる洗浄力、

作業性、グレース予防対応できる洗浄剤。PRTR 法非該当。③⑧⑨⑪⑫

●グレースリムーバー

ローラーメンテナンスが安心して行える処理剤で必需品。ローラーやローラー軸についた高度なカルシウムを剥離し、除去する資材として環境法令すべてをクリアしている。（富士フィルム社製を推奨販売）③⑧⑨⑫⑮

●ゴム専用メンテナンス剤

印刷品質の維持とコスト低減を両立させるために開発した、ゴム専用のメンテナンス剤。硬化、劣化したゴムを柔らかくし、新品のように「しなやかさ」を取り戻す処理剤。ローラー、ブランケット、給水ローラー、紙さばきゴム等印刷機の部品として多く使われているゴム製品の弾性を維持し、寿命を確実に伸ばす製品。⑧⑨⑪⑫⑮

●モトヤブランケット回復液

ブランケットの交換理由で最も多い、紙跡・凹みを復元させ、印刷途中や短期間での交換を減らせるように開発したブランケット回復液です。有機則・PRTR 法非該当。③⑧⑨⑪⑫

●ニュースレター『EN-FORUM』

2018 年 3 月から発行。B6 判 4 ページ。印刷会社の現場における問題点の指摘や改善策を提案するとともに、どのような健康問題が起きているのかのニュースを発信、併せて環境適合商材や人体への無害商材の紹介を実施。③④⑨⑪⑫

ファブリック（布）サインシステム LUFAS

デザインを印刷した布の周囲にラバーを縫製し、アルミフレームにはめ込むだけで簡単に完成するファブリックサインシステム LUFAS。その手軽さから世界中のサイン市場で大型ヴィジュアル・コミュニケーションツールとして広く使用されていますが、国内で販売されているものは緩み、たるみが出るため大型ヴィジュアルコミュニケーションには向いていませんでした。LUFAS は特許取得により、緩み、たるみがなく、2019 年の Good Desgin100 選にも選出されました。

●専門性を必要とせず、誰でもどこでも施工可

従来のファブリックサインの懸念事項であった「シワの発生」について、LUFAS は特許取得の展張構造によって、張り具合の調整が可能になり、誰でも簡単にシワなく張ることができます。また、軽量構造なのでどこにでも施工することが可能となり、壁面やスタンド独立することや、天井に施工した実績もあります。他システムと比較して、LUFAS は環境負荷の少ない素材（防災素材のファブリック）を使用しています。⑧⑨

●環境負荷の低減を実現

従来のアクリル板を使用した電飾看板と比べ、LUFAS はアクリルをファブリックに変えることで、軽量化を図り、生産時・施工時・輸送時における CO₂ の削減を進めることに成功しました。また、ヴィジュアルが再利用できる構造のため、取り外したヴィジュアルは何度でも使用できます。⑦⑧⑨⑪⑫⑬

●LUFASは新たな雇用の創出をします

LUFAS のヴィジュアルの取り付けは、専門的な技術や道具・機械などが不要なく、店舗スタッフでもきれいに取付けることができます。専門職人の長時間に及ぶ重労働を開放し、働き方改革に取り組みます。ファブリックにラバーを縫製して、サインディスプレイ領域に展開することは、従来の服飾関係が主流だった縫製分野に、新しい市場への展開による雇用の創出が実現できます。これによりすべての移住労働者や女性に、安全・安心な労働環境を提供することができます。⑧⑨



LUFAS の出力サンプル



東京モトヤの LUFAS 体験ルーム

●軽量フレームとエッジライト方式

軽量フレームとエッジライト方式と軽量のファブリックを使用することで、製品ライフサイクルの伸長になり、すべてが軽量であるため施工場所の補強が最低限に抑制できることから、環境負荷の低減が図れます。また、電飾看板は中に白色のアクリルの後部に光源をまんべんなく配置しますが、LUFAS は光源を少なくしても従来通りの効果の得られる LED エッジライト方式を採用。これにより電気使用量の削減と製品ライフサイクルの伸長を進めます。⑦⑧⑨⑫

●LUFASは災害時の被害を最低限に抑制します

LUFAS は従来の電飾板と比べ大幅に軽量化。アクリルを使用しないことで、地震による面板割れ落下事故の恐れがありません。また、ヴィジュアルをプリントするファブリックは防災品（防災協会認定）を使用しております。これらにより災害時の被害を大幅に抑制します。⑨⑪

教育に関しての取り組み

当社が 1960 年代から実施している教育関連のことです。日本語文書を印刷するためには絶対必要な組版ルールがあります。活版印刷からコールドタイプシステムへの移行に伴い、そのルールをいかに伝承させるかという大きなテーマがありました。その時から「組版ルールの教育」に取り組んでまいりましたが、そこから時代の変遷に伴い、1998 年からは DTP オペレータの専門職化を奨励する DTP エキスパート認証試験教育講座（JAGAT の指定講座）の取り組みをしております。現在では当社が開発した WEB 講習で実施することで、自宅でも仕事先でも講習が受けられるように対応を取り、少しでも業界のお役に立てればと考えております。④

以上

当社の SDGs への取り組み、ECO no MIST、LUFAS、DTP エキスパート認証試験対策講座についての詳細、En-Forum のバックナンバーにつきましては、右記 QR コードから当社 Web サイトをご参照ください。また、現在ご使用中の資材で成分等の調査をご希望であれば、当社特販課 (E-mail: r-furusawa @ motoya.co.jp) までメールでお問い合わせください。



(株)モトヤ
古門慶造 社長

コロナに負けるな！ 暑中見舞名刺交換会

コロナに負けない
ジャグラ山口県支部
支部長 田中泰史
〒745-0037
山口県周南市米町1の1
TEL 0834-311617
FAX 0834-311730

ジャグラ副会長
ジャグラ中国地方協議会会長
宮崎 真
〒733-0833
広島市西区商工センター7の5033
TEL 082-2776954
FAX 082-2776954

共立速記印刷株式会社
代表取締役会長 吉岡 新
代表取締役社長 笹井靖夫
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24
PHONE.03-3234-5511(代) FAX.03-3263-2740

ジャグラ群馬県支部
支部長 中島 博
〒371-0024
前橋市表町2の6の5
TEL 027-2214348
FAX 027-2214498

関東複写地方協議会
関東複写センター協同組合
理事長 斎藤隆正
東京都文京区小石川1の4の12
文京ガーデンザウエスト704号
TEL 03-3815438
FAX 03-3815438

創文印刷出版株式会社
代表取締役 熊谷晴樹
〒900-0821
仙台市青葉区春田町8の34
TEL 022-2220181
FAX 022-2220466

倉敷印刷株式会社
代表取締役 清水隆司
〒130-0013
東京都墨田区錦糸4の16の17
TEL 03-66580031
FAX 03-66580031

企画・印刷・製本・グッズ制作
株式会社 緑陽社
代表取締役 武川 優
〒183-0033
東京都府中市分府町3の58の1
TEL 042-3511900
FAX 042-3511900
MAIL info@ryokyo.co.jp

株式会社 クイックス
代表取締役社長 岡本 泰
〒448-0005
愛知県刈谷市幸町2の2
TEL 0566-245511
FAX 0566-240200

株式会社 北斗プリント社
代表取締役 谷川 聡
〒606-1854
京都市左京区下鴨高木町38の2
TEL 075-7916125
FAX 075-7917290

株式会社 伸光堂
代表取締役 中越忠男
〒780-1804
高知市神田638の24
TEL 088-8663434
FAX 088-8663434

「ヨミニル」ジャパン株式会社
プロダクションプリント事業部
事業部長 須田 徹
〒105-0003
東京都港区芝浦1の1の1
TEL 03-63119061
FAX 03-63119505

日経印刷株式会社
代表取締役社長 広瀬 智
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-15-5
TEL 03(6758)1001 FAX 03(3263)5814
https://www.nik-prt.co.jp

JaGra
本部事務局一同

シリーズ 需要創出を考える②

印刷需要が低迷し、競争が激化する経営環境の中でジャグラ会員企業はどのようにして活路を見出そうとしているのかを探るシリーズ。今回はジャグラ作品展受賞企業の中から、東京・港支部の(株)東京技術協会さんの事例をご紹介します。

事例22 作品展 / 開発・開拓部門 ニュープリンティング(株)賞

『3DVR 神輿シミュレーター』 3DCAD から CG を作ることに活路を見い出す

(株)東京技術協会 (東京・港) 代表取締役社長 鈴木将人

「ワッショイ、ワッショイ！」日本の原風景である『祭り』。そのクライマックスに登場する、神様の乗り物としての『神輿^{みこし}』。神社の氏子を始め、多くの人が力を合わせて担ぐ神輿は担ぎ棒込みで1トンを超えるものも珍しくありません。当社は縁あって「神輿の組上げ」をシミュレーションするアプリケーションを作らせていただくことになりました。当社がなぜこれを作ったのか、その理由をご紹介します。

×

国産旅客機 YS-11 のテクニカルイラストを担当

当社は1919年(大正8)創業で昨年100周年を迎えました。本業は「機械製品のマニュアル制作・印刷」ですが、創業時は「設計図のトレース要員派遣と青焼きの請負い」だったそうです。当時は日本が殖産興業に湧いていた時代。その頃に勃興し、後にナショナル企業となった機械メーカーは、欧米の機械製品を手本に設計図を起こすのですが、この手書き図面は途中で修正の必要があるので鉛筆描き。これを製造のために関連部署や工場・外注先に渡すにあたっては、清書(トレース)した上で複写しなければいけません。

ところが西洋式ものづくりスキルのほとんどなかった日本のメーカーには設計に燃えた人は大勢いたものの、書き上げた図面をトレースする作業員が少なかったのです。当社創業者・小林孝太郎はそこに商機を見出し、設計図を読図してトレース(当時は烏口ペンにインキをつけて描いた)できる作業員を養成し、メーカーに派遣したのです。今でいう派遣業態ですが、当時は「人貸しさん」と呼ばれたそうです。



同社が手掛けた国産旅客機 YS-11 のテクニカルイラスト

書き上げたトレース図面は作業員が持ち帰り、青焼きして納めました。戦後、青焼きに替わってオフセット印刷機を導入し、昭和30年代には設計図面から線画の立体図を起こす「テクニカルイラストレーション(テクイラ)」技術を導入したことで、国産初の旅客機 YS-11 の部品表を受注することができました。これは恐らく日本初の本格的な「立体図付き部品表」で、その後、他の企業にも導入していただき現在に至っています。

設計図の読図能力が当社の強み

当社はこのような独自の技術とノウハウを持っていますが、これは常に強みになるわけではありません。たとえば「シンプルな構造の製品の一般消費者向け組み立てマニュアルを低価格で作りたい」という場合には「製品を分解した状態の写真をトレースして分解図を起こす」というやり方が手軽で早く、低価格でできる場合が多いです。つまり「イケアの組み立て家具のマニュアルは作れるけど高い」———ということとは「写真トレースで制作可能な案件は価格で負ける」ということです。

しかしながら当社のテクニカルイラストレーターは、設計図面(平面図、組立図など)を読図して機械の立体構造や動作、分解・組付手順を理解し、それを立体に見えるように線画に作図していきます。つまり、機械や部品の素材・強度・特性などを理解している設計者や、それを適切なプロセスで製造する製造者には遠く及ばないものの、出来上がった部品の組立・組付をする工員と同等以上の知識を有しているということです。しかも、この知識を立体図として表現するノウハウを持っているのです。

そしてもう一つ重要な点は「設計図面さえあれば製品がなくても正確な立体図が作れる」ということです。通常、設計が上がると試作品を作り、問題点を検証して設計変更をした上で仕様を固め量産に入ります。このプロセスには数か月から一年以上を要することも少なくありません。写真トレースで資料を作る場合だと最低でも試作品、正式版だと量産品ができていないといけません。テクイラだとその必要がありません。図面が書き上がってさえいればいつでも作れるのです。

3DCAD から CG を作ることに活路を見い出す

印刷業界はこの四半世紀、コンピュータの普及による印刷工程のデジタル化により、たいへん苦しい状況に追い込まれています。かつては未知の職人技を身につけることが競合者の参入障壁になっていたのが、デジタル化で誰でもできる状況になり、コモディティ化(一般化)したことで激しい価格競争に陥ってしまいました。さらにインターネットの急速な普及によって紙以外のデジタルメディアが分化し(PDF、Web、アプリなど)、印刷自体の需要が激減していることは、この業界の方なら骨身に沁みて感じていることでしょう。

当社は「機械の設計図面から線画の立体図を制作する」という技術とノウハウを持っています。「これをこれからのIT化社会で活かすことができないか？」と考え抜いた末たどり着いたのが「3DCAD から CG を作る」ということでした。2次元の設計図面は頭の中で立体に組み立てる必要があり、これは技術者しかできない、まさに職人技でした。これを解消するひとつの手段が当社が先駆けて導入したテクニカルイラストレーション技術ですが、これも「ある特定の角度からその立体を見たらどう見えるか」を表したものに過ぎません。もちろん分解組付順や細かい形状などを絵として表現することはできますが、それもあくまで線画という制約の中であり、実際に見たままのものではないのです。

1980年代から普及した3次元CAD(3DCAD)は、立体物の輪郭情報を3次元的に記録し、必要に応じて2次元の設計図として書き出すことができるようになりました。また、ビューワー機能として簡易的な立体表示ができ、回転させたり分解することも可能になりました。当社のお客様も相次いで3DCADを導入した結果、当社の業務は「3DCAD データを当社スタッフがコンピュータで立体図に変換した上で分かりやすくレイアウトする」というものになりました。それまでの「設計図から人間が手書きで立体図を起こす」という業務に較べると、線画を描く部分が自動化されたため工数は半減。イラスト制作の売上は半分になってしまいました。もともと印刷業務がIT化によるペーパーレスで激減していたところで、当社にとってはダブルパンチでした。

お客様からは3DCADの導入前、「うちが3DCADにしたらおたくは仕事がなくなるよ」と言われていました。しかし、3DCADのデータから膨大な部品をセクション分けし、見づらい部品を修正し、分解図にレイアウトし、リストとの整合性を取る、そのノウハウを持っているのは、お客様以外には当社しかいない。そう信じて率先して3DCAD化に取り組んできました。しかし、3DCAD化の普及は思ったより遅く、やっと普及し始めたところをリーマンショックが襲い、本格的な普及はこの10年ほどでしょうか。スマートフォンやタブレット端末の普及が進み、

こういうコンテンツがオフィスにあるPCでなくても見れるようになったことが大きいと思います。いつでもどこでもネット経由でコンテンツを閲覧・利用できる環境が急速に整ったことで、この数年はポケモンGOなどのゲームや新聞記事、お菓子のおまけなどにもVR・ARなどの3Dグラフィック技術が活用されるようになってきました。

刺激となった展示会への出席

当社が18年前に開始した3Dコンテンツ事業は10年以上の間鳴かず飛ばずだったため、専門の部署もありませんでした。それを6年前に専門のプロジェクトチームを立ち上げ、「ものづくり補助金」を活用して研究開発と実用化を始めました。

当初は「とりあえずお客様からお預かりした3DCAD データを3DCGに変換してみる」「市販の3DCAD データを購入して動画を制作してみる」など、本当に手探りの状態でした。このような作業はニーズがあってやっているわけではないので「こういうものを作れば売れる」という正解はなく、「当社はこういうことができますが、これでお客様の課題を解決できますか？」というアプローチをするしかありませんでした。当初は従来のルート営業をしている社員に担当顧客に聞いてもらったのですが、負荷が大きすぎてなかなか成果に結びつかず、別動隊としてマーケティング部を立ち上げました。その名の通り「今までにない製品・サービスを開発してマーケットを作る」部隊です。社長の私以下2名の部隊で、一人は18年前に3DCAD業務立ち上げのためにヘッドハンティングした社員でした。

プロジェクトを始めた当初は、何をやっていいのか、何を用意したらいいのか、機材やソフトがあっても本当に役に立てられるのかという試行錯誤の状態でした。メンバーは他に実務も持っているため、月一回の会議で「仕事が入ったので何もできませんでした」という報告を聞いてガッカリすることも少なくありませんでした。

これではいけないと思っていた時に社員から「無料で出展できる展示会がありますが出しませんか？」という話がありました。私は展示会などまだ早過ぎると思っていたのですが、「君がやってみたいと思うなら検討する」と言ったところ、「ぜひやりましょう」と言われて決心ができました。結果的には出展をすることで、「展示会に出すコンテンツを企画・開発・制作する」「展示会で実際に動かして反響を見る」「その結果を次のコンテンツに活かす」というPDCAサイクルができ、また展示会は会期という納期があるので「仕事が忙しい」という言い訳ができなくなったことがとてもプラスに働いたと思います。展示会には、実際にコンテンツを開発・制作した社員も説明員として立つので、来場者の生の声を直接聞くことができますし、他の出展社を見ることで、自分たちがどんなポジションにいるのかを客観的に把握することができます。これはとてもいい刺激になっているようです。

需要創出を考える

神輿製作のシミュレーションソフト開発に挑戦！

そのような中でマーケティング部の社員が「神輿シミュレーター」の相談を持ち込んできたのです。千葉県の実徳で神輿製作を営んでいる中台製作所が「神輿製作をデジタル化して営業ツールにできないか考えている」という話でした。同社は1848年（嘉永元年）に創業した会社で、現社長・中臺洋氏は6代目。日本で唯一、社内にほぼ全ての製作工程を扱う職人を抱える神輿製作所です。

神輿は一基数千万もする高額なものです。設計図面などはありません。仕様に基づいて職人が部品を一点一点丹精を込めて作り、組み終えたら速やかに納品しますので、完成品の神輿が置いてあることは少なく、見学の方が来ても見せるものがなくて困ることが多かったそうです。また、3回神輿を担いだら修理を行うというほど損傷頻度が多いため、お客様にその都度、修理変更箇所を写真撮影して説明していましたが、それでは実際のイメージが湧かないケースが多かったとのことでした。

中臺社長は伝統的な業界でありながらデジタル化に強い関心を持っており、カラーやオプション部品など、外見が何通りにもシミュレーションできる自動車メーカーのWebカタログを見て、神輿でも自由に部品を組み合わせてお客様や職人が一目でイメージできる、利便性の高いコミュニケーションツールが作れないかと考えていたそうです。そのニーズにお応えするにはどんな方法があるか、検討した結果、自然に出てきたのが「神輿を部品単位でフルCG化し、コンピューター内のバーチャル空間で自由に組み合わせをえることができ、360度の回転やズームイン/アウトができるシミュレーター」でした。

しかしながら当社は「機械の設計図面から線画の立体図を起こす」という業務は得意ですが「現物の3Dデータを起こし、それを立体として組み合わせできるソフトを開発する」というのは全くの未経験です。幸いそういうことを得意としている協力会社がありましたので、全面的に協力を仰ぎながら共同で制作していくことになりました。また、神輿は工業製品ではなくいわば建築物であり、それも寺社仏閣と同じ宮大工の技が用いられています。当社にはその分野に通じた社員はいませんが、別の協力会社に詳しい方がいたため、モデリングをお願いすることにしました。シミュレーターについてはオリジナル開発すると長い開発期間と多額の費用がかかるので、汎用3Dゲームエンジン（3Dゲームの開発に使われる使用料無料の開発ソフト）を活用したらどうか協力会社から提案がありました。3Dゲームエンジンのエンジニアリング分野への活用はあまり前例がないと思われ、逆にその可能性を検証できる絶好の機会と捉えチャレンジしてみることになりました。

部品点数が膨大なことから、レーザースキャナーというレーザ光により自動的に形状を測定できる機械を使用することに

しました。印刷工場の一角をスタジオにして、いざ計測を開始したところ、金属メッキ部品が多い環境のため、レーザー光が乱反射してうまく計測できないことが判明。やむなく中台製作所へ出向き、丸2日かけて神輿のすべてのパーツを分解して一点一点写真に撮り、同時に職人さんへのヒアリングを行いました。このトラブルにスタッフが逆に燃え、非常にクオリティの高いモデリングを仕上げてくれました。モデリングしたパーツの総数は総数約500点に及びました。

お客様にも好評 CG 専門誌にも取り上げられる

中臺社長の着想のヒントになった自動車メーカーのウェブカタログは、よく観察すると選べる色やオプションの数が多くありません。なぜかという点「すべての選択結果の画像をあらかじめ用意している」からです。そして、360度回せるのも、あらかじめ用意されている様々な角度の画像を連続表示して、あたかもグルグル回しているように見せています。

それに対し当社の「神輿シミュレーター」は、コンピューターの中の仮想三次元空間の中で部品ひとつひとつが実際に組み上げられ、それに仮想光源からの光を当て、その物体や周囲の壁・天井・床などに当たった光が反射・吸収・透過されるのをコンピューターの計算でシミュレーションし、その結果どう見えるかを画像として作り上げて表示しています。少し前まではかなり高性能な専用コンピューターが必要でしたが、近年の高性能化で市販のパソコンでも十分動くようになりました。

中臺社長はこの神輿シミュレーターをとても気に入ってくださり、「神輿作りや修復を通じて行徳の歴史と伝統文化をより多くの人々に伝え残す」という目的から平成30年にオープンされた行徳神輿ミュージアムでは、神輿本体や彫刻品などのパーツの展示とともに、この神輿シミュレータの実演と、やはり当社が実写動画制作を受け持った神輿の修復・制作工程の紹介動画が上映されています。また、日本の伝統工芸を題材とした汎用ゲームエンジンを使用したエンジニアリング向けアプリケーションというところを評価され、コンピューターグラフィックス専門誌「CGWorld」にも取り上げていただきました。

今回当社がこの「3Dパーツを自由に組み合わせて端末上の仮想空間で表示する」という機能をもったシミュレーターを制作できたことはある意味とても画期的なことと自負しています。とはいえ、このようなアプリが今現在どれだけ世の中から必要とされるのかは正直未知数です。

これからも三次元技術の可能性を追求したい

新型コロナウイルス感染症蔓延でのビジネス環境の大きな変化を考えると、「新しい生活様式」としてのテレワークとペーパーレスによるDX（デジタルトランスフォーメーション：デジタルによる変革）の進展で3D技術の需要が増えるのは間違いないで



中台製作所外にて取材中の同社



左より、中台製作所外観 / 社屋の一部を神輿ミュージアムとして開放し伝統文化継承にも注力している / 6代目・中臺社長

しょう。当社の3DCADの活用という方向性は、

①今まで当社の印刷物で解決していた課題はなにか

②その課題がよりよく解決できる他の手段はあるか

③そこに当社の技術やノウハウが活かせないか

という発想でした。その中から、CADどころか紙図面すらない神輿の3Dデータを作りシミュレーターを開発する機会を得ることができたのは、ある意味「できるはずだと考えたことが本当に実現できた!」という、自分たちにとっても目から鱗の貴重な経験でした。

人類は文字を記録する媒体として粘土やパピルス、羊皮紙などを使用し、二千年以上前には紙を発明。少なくとも数千年以上、二次元の表現で情報を表してきました。それがITの進展で三次元表現ができるようになったのはたかだかこの30年、普及し出したのはまだこの数年に過ぎません。しかし、考えてみてください。わたしたちは実際に三次元の世界に住み、三次元の情報を自然なものとして取り入れています。当社は展示会でVR（仮想

現実）の体験をしていただいているのですが、VRグラスを装着して実際に体験された方はみなさんとてもびっくりして仮想空間に没入します。ベランダから下を覗いて足がすくみ、目の前にある（ように見えている）手すりを思わず掴もうとして空を握ってしまったりするのです。このような疑似的・仮想的な三次元表現が実用できるようになったことは、ある意味人類にとって画期的なのではないでしょうか。

当社はこの三次元技術のノウハウを、今まで当社が表現手段として利用してきた印刷物やPDFなどの二次元メディアと組み合わせてさまざまな課題解決に活かせるように、今後も技術を開発しノウハウを蓄積していきます。そして印刷企業として、僥越ながらこの業界のみなさんの、そしてみなさんのお客様の課題解決のお手伝いをさせていただきたいと思っています。なにかお困りごとがありましたらぜひお気軽にご相談ください。

[ジャグラ関連](#) | [日印産連](#) | [印刷業界全般](#) | [行政情報 etc.](#)



日印産連の新会長に 就任した藤森康彰氏

市民の生活や産業界は大きな打撃を受けています。このような時だからこそ、会員10団体加盟7200社の企業の皆様と一丸となり、印刷による情報発信や生活を支える物資の提供などを通じて、社会貢献を果たしてまいります」と抱負を語った。

ジャグラーからは中村会長が
常任理事に、清水副会長が理
事にそれぞれ選任された。

本誌『グラフィックサービス』において2016年から本

著者・後藤卓也さん（山形謄写印刷資料館 館長／株中央印刷）の手により、一冊にまとめられ、このほど自費出版されました。（阿古耶書房刊／税別 1000 円）

後藤さんは「“連載記事を大切にしているよ”というジャグラ会員諸氏からの暖かい言葉も多数頂戴していたが、機関誌のままでは10年後に埋もれてしまうのではないかと、単行本化すれば50年後にも読んでもらえるのではないかと考え、1回分補筆（番外編：NHKファミリーヒストリー三宅裕司にちなんで）した26回分をA4判60ページにまとめて刊行したもの。完成した本をジャグラ各支部に寄贈したところ、全国よりお礼のメールや電話が連日届いており、また、地元マスコミを中心に取材も相次ぎ、「我々の先達の業績にスポットライトが当たり、嬉

しい」と話す後藤さん。

残部僅少とのことですが、ご購入などのお問い合わせは同館（下記）まで。

●事務局 / 中央印刷(株)内

電話 023-631-5533

ファクス 023-631-5535

メール goto@chuo-printing.co.jp

(情報提供：滋賀県支部長・竹田正司)

ひと@rjv



「紙は千年以上前のものも残っている」

高卒卒業後、家業を手伝うように、76年までは出版もはかばかしくなかった。とはいえ最初は、地域紙、個人誌などの冊子出版や公民団体の出版が中心だった。81年、数人が中心になったと、経営すべて担うようになった。

近海文庫の立ち上げは、94年、県内の民営学者・橋本孝男さん（故人）の著書「一潮田國男と近江」を出版した際、橋本さんと「近江の文化を発信する文庫を作りたい」と脱税されたことがきっかけだった。この著書が第1号を飾った。

当時は近江商人の注目されており、城域を調問に連なり、その後、城域や戦国時代、石田三成など地元を舞台とした歴史ものがブームを呼び、出版事業も波に乗ることができた。

しかし著者に印税を支払うまではいかならなかった。著者に出版費用を一部負担してもらっている。厳しい状況に変わらぬ。と現状を打明ける。

その中で妹の恰美さん（67）も経営を支援する。出版を取巻く環境は「Twitter」ネットの普及などで、社員10人と共に「地方出版文化を守ら」という信念を持ち続けた。

2015年には滋賀県立岡本大学と「おもしろ学術出版会」を結成。近江にこだわった分かったり、学術書は出版するのが目的だ。

「紙は千年以上のものも残っている。モノとしての価値にこだわり、もう少しやりやすいものを出版していく」。出版として情は衰えない。（田中照也）

版画と謄写とこれから

第2回：様々な鉄ヤスリと可能性



Atelier 10-48 主宰 / 版画家 神崎 智子

謄写版といえば「鉄ヤスリ製版」というのが日本では主流ですけれども、それは堀井新治郎がエジソンのミメオグラフを米国から持ち帰り、商品化して普及したのが始まりだということは、ジャクラの皆様でしたらよくご存知なところでしょう。今回は堀井以前から存在していた「鉄ヤスリ製版」について、それらがどういったものであったか、そしてそれを踏まえて私が行なった実験も交えてご紹介します。

拙書『謄写版のこれまで・これから』では、ズッカートやエジソン、ゲストットナーといった初期の謄写版3大メーカーの「ヤスリ製版」がどのようなものであったかを、書籍『The Origin of Stencil Duplicating』(①)から原文を引用し、日本語訳も紹介していますので、是非ご覧ください。

トリボグラフと後のミメオグラフ——まず1877年に開発されたズッカートのトリボグラフの鉄ヤスリは、「鋤(すき)で耕した畑の溝のように、金属板に溝を入れて作った。」と『The Origin of Stencil Duplicating』(①)に書いていますが、作り方は極めて日本と似ています。日本のヤスリ製造の動画がジャグラBBで公開されていますが、ほとんど同じに思えます。

謄写版のためのヤスリ製造はこの段階ですでに出来ていたことになります。ですので、『The Origin of Stencil Duplicating』で、「The File Plate Process*1」と言っているのはこのトリボグラフのことを指しています(②)。

このトリボグラフから3年後の1880年、エジソンがヤスリ製版の特許を取得します。それによりますと……、「表面に多数の鋭利な点があるスラブまたはプレートを使用します。表面は、互いに密接に設定された針先、またはワイヤポイントで構成され、その両端は同じ平面にあり、ボディはハンダまたは鑄造金属で結合されています。」「あるいは前記表面は、間にある鋭い点が突き出るように溝が刻まれた表面を備えた金属板であってもよい。このように準備および硬化された銅板が好ましい。」

と書いてあります。このことから、1880年時のファイルプレートっていうのは、どうも生け花の剣山のような形だったのではと思われます(③④)。

最初に記述しているヤスリの構造と、次に記述しているヤスリの構造が違っていますが、おそらく最初に書かれている方がエジソンが言っているものだろうと推測します。それを見ると針のようなものを集めてハンダで固めて作っているようです。後半の記述では「そういった形の金属板であってもよい」とあり、製造方法は書いていませんが、これはトリボグラフのことを指すと思われます。なお、ミメオグラフと命名したのは1887年ですので、特許時点では名前はありませんでした。

シグネチャープレート——ゲストットナーのファイルプレートプロセスも1880年に特許をとりました。『The Origin of Stencil Duplicating』によりますと……、「一連の細いワイヤーが並んで置かれ、その上に置かれて、鈍い金属のスタイラス*2で書かれるワックスがかけられた紙ステンシルのための筆記台を形成する1つの表面のボードまたはプレート」とあります(⑤)。

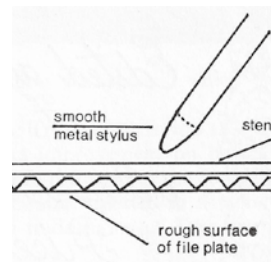
構造はこの一文だけではちょっと想像がしにくくて、そもそも「ワイヤーを並べたもので製版できるのかな」と思っていましたので、ゲストットナーキングことアーウィン・ブロックさんに聞いてみましたところ、実物をお持ちでしたので写真を頂きました(⑥⑦)。

ブロックさんが言うには「これは亜鉛版にワイヤーが掛けられて作られている」とのこと、ゲストットナーはこれを「シグネチャープレート」、つまりサイン製版をするための筆記台として販売していました。これを使った作品も見ることができたので、様子を見るとやっぱり金網による製版であることも確認できました(⑧)。

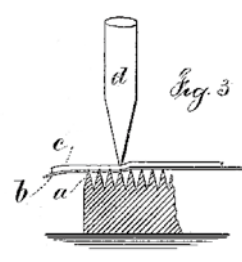
10-48の金網製版——実は金網製版を以前から私のワークショップで行なっていて、鉄ヤスリ以外の製版方法の一つとして紹介していました。私の「表現講座」というワークショップでは、複数の製版方法を学ぶ課



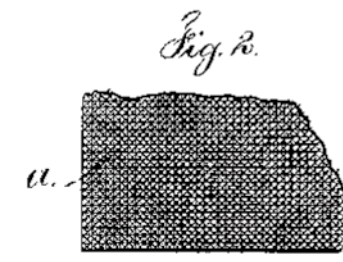
① The Origin of Stencil Duplicating
WB. プラウドフート著 / 1972 年刊



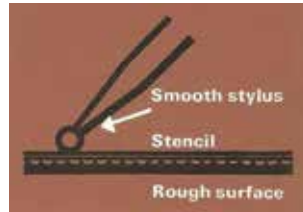
②トリボグラフの鉄ヤスリ図



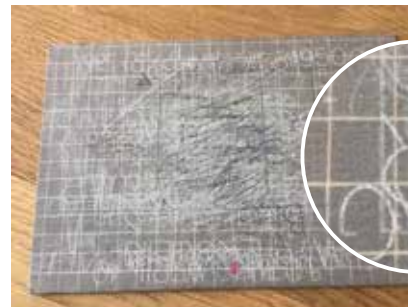
③エジソン
1880 年特許より断面図



④エジソン
1880 年特許より平面図



⑤ゲストットナーの鉄ヤスリ図
「The story of a little wheel that started a big revolution (小さな革命を起こした小さな車輪の話)」より



⑥シグネチャープレート



⑦同・拡大写真(円内)



⑧シグネチャープレートを使った作品
写真⑥～⑧提供：アーウィン・ブロック



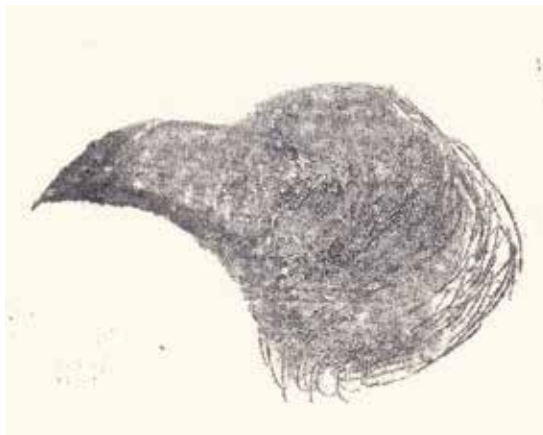
⑨10-48の講座で使用している金網



⑩シグネチャープレートを使った表現と
金網製版の表現の拡大比較



⑪金属板にステンレス金網
100 メッシュを両面テープで
取り付けた簡易ヤスリ



⑫改良版金網ヤスリで製版した作品

題の一つとなっています。ここでは100メッシュ、60メッシュ、40メッシュのステンレス金網を使っていました。これらはホームセンターとかで買える金網です(⑨)。

この金網製版ですが、特に目の細かい100メッシュの金網は、鉄筆でしっかり書くとその圧により金網がへたりやすいといったデメリットもあります。ですので、テクスチャ的な使い方を案内していました。ちょっとした模様とかテクスチャを表現するのに使っていただいていた。この金網製版による表情は、ゲストットナーのシグネチャープレートによる製版とすごく似ています(⑩)。

シグネチャープレートを見せていただいた後、金網製版のデメリットの改良ができるのではない、実験を行なってみました。シグネチャープレートは、「亜鉛板にメッシュを取り付けて」という製品ですので、ステンレス100メッシュに金属板を両面テープで取り付けるという非常に簡単な改良です(⑪)。

で、結果です(⑫)。線描はもちろん、つぶし製版もで

きますが、くちばしのところが濃くなっているとか、ちょっとあえて力を入れて濃い目にやったところで、(通常の鉄ヤスリ製版ではできない)筆圧による強弱で濃い薄いの製版もできる、ファイルプレートプロセスの一つになるのかなという、新たな発見と期待が持てる技術じゃないかと思っています。工夫次第で、絵画ヤスリで製版が可能である「立体製版」も金網ヤスリで可能であることがわかってきました。簡単に導入できるヤスリ製版であり、ファイルプレートプロセス研究の一つとしても大変魅力的であると感じています。

この記事内容は下記でもお話しています
(短縮版) さまざまなファイルプレートプロセス
10-48TALKS#2
https://youtu.be/_4TRgT7nAUM



*1 File Plate は摩擦版 / ヤスリの意にて製版工程
*2 スタイラス：鉄筆

事務局日誌と今後のスケジュール

6月の事務局日誌

- 5日 ジャグラ文化典高知大会記念ゴルフ大会・ウェルカムパーティ→開催中止
- 6日 ジャグラ文化典高知大会セミナー・マスタースクラブ総会・定時総会・記念懇親会→開催中止（定時総会は会館＋ネット会議＋書面決議）
- 7日 ジャグラ文化典高知大会エキスカーション→開催中止
- 11日 印刷図書館定時評議員会・理事会（書面決議による開催）、日印産連定時総会（書面決議による開催）、日印産連理事会（書面決議による開催）、関東複写センター協同組合通常総会懇親会（都内）→開催中止
- 19日 広報部会（ネット会議）
- 22日 SPACE-21 幹事会（ネット会議）
- 26日 ジャグラ委員長会議・拡大理事会

7月のスケジュール（7.1現在）

- 3日 年賀状デザインコンテスト選考会議（本部）
- 7日 プライバシーマーク現地審査（山口県）
- 13日 JAGAT 通常総会（JAGAT）→委任状
- 15日 プライバシーマーク現地審査（秋田県）
- 17日 神奈川県支部総会（VIT 横浜）、広報部会（本部）
- 20日 プライバシーマーク審査会（本部）
- 22日 プライバシーマーク現地審査（神奈川県）
- 27日 ジャグラコンテスト部会・DTP 教室打ち合わせ（本部）、プライバシーマーク現地審査（都内）
- 28日 ジャグラコンテスト専門委員会議（本部）、P 審査員フォローアップ研修（日本印刷会館・5月11日予定分）
- 30日 プライバシーマーク現地審査（都内）

8月のスケジュール（7.1現在）

- 20日 日印産連理事会（日本印刷会館）
- 29日 SPACE-21 幹事会（大分＝予定）

会員の異動（名簿の訂正をお願いします）

【代表者変更】

- 111 ページ ◎宮崎県支部（株）ながと 長渡憲次郎→長渡 靖夫
- 116 ページ ◎関東複写地方協議会（株）ダイビス東京支店 瀧波 伸一→田中 創作

【住所変更】

- 75 ページ ◎愛知県支部 CSJ（株）〒461-0002 名古屋市中区代官町 35-16 第一富士ビル 3F

【役員退任】

- 7 ページ ◎相談役（株）文伸 川井捷一郎
※本人よりご辞退の申し出がありました。

事・務・局・便・り

7月3日に年賀状デザインコンテストの選考会議を行いました。来年は丑年ということで、赤べこをデザインしたもの、ソーシャルディスタンスを取っている牛、UF0にさらわれる牛など、想像を超えるアイデアで幅広いデザインが集まり、選考会議は大いに盛り上がりました。結果発表は7月21日、ダウンロードは8月21日から始まります。どうぞお楽しみに（K.N）

月刊
グラフィックサービス
No.824
2020
07

月刊『グラフィックサービス』824号

- 発行日 令和2年7月10日（毎月1回）
- 発行人 中村 耀
- 編集人 清水 隆司
- 発行所 一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
T E L 03-3667-2271
F A X 03-3661-9006
W E B https://www.jagra.or.jp/



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

- 編集部 メール edit@jagra.or.jp
- ◎原稿／編集／校正
沖 敬三 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 守田 輝夫 酒井 玲子
長島 安雄（以上、ジャグラ事務局）
斎藤 成（東京グラフィックス／広報委員）
藤尾 泰一（㈱インフォ・ディー／広報委員）
日経印刷(株)（校正のみ）
- ◎渉外 並木 清乃 守田 輝夫
- ◎広告 酒井 玲子
- ◎Web 阿部奈津子
- ◎動画 今田 豪

- ◎組版／デザイン ㈱インフォ・ディー
組 版 = Adobe CS6/CC ほか
フォント = モリサワ OTF/ モリサワ BIZ+ ほか



※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

- ◎製版／印刷 日経印刷(株)（東京・千代田支部）
R I P = 大日本スクリーン Trueflow
C T P = 富士フイルム XP-1310R
刷 版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX
印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P
インキ = DIC
用 紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg
※本誌はFSC森林認証紙（管理された供給源からの原材料で作られた紙）とLED-UVインキ（リサイクル対応型）を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2020 JaGra／禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です。原則、TM や®マークは省略しています。※乱丁／落丁本はお取り替えいたします。

2020年7月号
ジャグラBB HOT NEWS

今月のおすすめ番組

▶最新情報はWebをチェック <https://www.jagrabb.net>



新・ビジネスマナー入門【1章～4章】

新社会人のビジネスマナー教育に役立つ新番組「新・ビジネスマナー入門」の配信がスタートしました！番組専用レジュメもダウンロード可能です。新人教育に今すぐご利用ください。

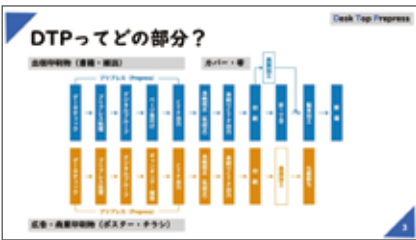
時間:38分～57分 会員限定番組



生産性向上は働き方改革であり経営改善である 講師:稲満信祐氏

2019年11月開催ジャグラ全国協議会セミナー。イナミツ印刷・稲満信祐氏を講師に迎え、それまで赤字体質だった自社を社長就任後にV字回復させるまでの取り組みについてお話いただきました。

時間:42分52秒 会員限定番組



影山史枝の印刷・DTP基礎講座2020 (1)～(4)

影山史枝先生による最新の印刷業界・DTP事情、情報を反映させたDTP基礎講座がスタートしました。印刷会社の新人教育に最適な番組です。

時間:20分～1時間10分

(1)のみ無料、その他会員限定番組



業界の大先輩が語る「ジャグラの魅力」～筋金入りのジャグリストからのエール～

2012年11月配信。業界の大先輩4氏へ緊急インタビューを行った際の映像です。ジャグラの魅力とは何か？ 同業者組合の役割とは？ 時代が激変する今だからこそ、視聴していただきたい番組です。

時間：15分 無料番組



民間金融機関における実質無利子・無担保融資 緊急セミナー

2020年5月に東京グラフィックスにて開催されたネットセミナーをお届けします。「チャンスを活かしてコロナを乗り越える!」をキャッチフレーズに、中小企業診断士が融資制度の活用方法を説きます。

時間:26分 無料番組



JN（ジャグラニュース）アーカイブス

JN(ジャグラニュース)アーカイブスでは、過去14年以上撮りためた歴代文化典、イベント映像などを公開中です。懐かしいヒトコマをぜひお楽しみください。

時間:番組により異なる 無料番組

動画募集のご案内

ジャグラBBでは「ワザコレ!」「インサツノオト。」で配信する投稿映像を募集しています。自社で編み出した仕事の裏ワザ、自慢の印刷機を動画で紹介してみませんか？ 採用された方には1000円相当の商品券を進呈します。

ワザコレ!動画応募方法

簡単な内容説明、動画の長さ（撮影編集済の場合）をご記入の上、ジャグラBB企画部会までメールでご連絡ください。追って担当者よりご連絡します。応募先メールアドレス:jagrabb@jagra.or.jp



スマホで簡単登録&視聴！ジャグラBB 新規ID登録はこちらから
https://www.jagrabb.net/app_mail.php

